ボイストレック

G-10

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、
製品を正しく安全にお使い下さい。
お読みになったあとは、いつでも見られる
ところに必ず保管して下さい。

失敗のない録音をするために
試し録りをしてください。

JP

目次

目次 2
安全に正しくお使いいただくために 4
使用上のご注意 6

1 ご使用になる前の準備

こんな使いかたができます 7
主な特長 8
各部のなまえ 10
電池を入れる 12
電源について 13
日付・時刻（Time & Date）を合わせる 14
フォルダについて 16
学習モードと音楽モードの切り替え 18

2 音声レコーダーとして使う（語学学習機としての活用法）

録音する 19
音声起動録音（VCVA）のしかた 22
録音モード（Rec Mode）をかえる 24
マイク感度（Mic Sense）をかえる 25
外部マイクや他の機器から録音する 26
語学コンテンツを取り込む 28
再生する 29
少し前再生（Back Space）のしかた 33
再生スピード（Play Speed）をかえる 34
再生モード（Play Mode）を選ぶ 36
部分リピート再生のしかた 38
インデックスマーク・テンプマークをつける 40
ノイズキャンセルを設定する（Noise Cancel） 42
音声フィルタ（Voice Filter）を設定する 43
誤消去を防止（Lock）する 44
メニューの一覧（音声レコーダー編） 46

3 本機をパソコンでお使いいただくためには

ファイルをパソコンに保存する 48
パソコンの動作環境 49
パソコンに接続する 50

4 音楽プレーヤーとして楽しむ

音楽プレーヤーとして楽しむ 52
Windows Media Player を使う 52
ウィンドウのなまえ 53
CD から音楽をコピーする 54

音楽ファイルを本機に転送する 55
音楽を再生する 58
再生モード（Play Mode）を選ぶ 62
リピート再生（Repeat）のしかた 63
ランダム再生（Random）のしかた 64
臨場感（WOW）を高める 65
イコライザー（EQ）を選ぶ 67
メニューの一覧（音楽プレーヤー編）.... 70

5 音声レコーダーと音楽プレーヤー共通の機能

消去する 72
誤操作を防止する - ホールド機能 75
メニューの設定のしかた 76
曲順を入れ替える（Move）.................... 78
ビープ音（Beep）について 80
バックライト（Backlight）について 81
ディスプレイのコントラスト
（Contrast）を調整する 82
言語選択（Language）のしかた 83
初期化（Format）する 84
システム情報（System）を見る 86

6 その他の活用方法

パソコンの外部メモリとして使う 87

7 その他

警告表示一覧 88
故障かな？と思ったら 89
アクセサリー（別売）............................... 91
用語の説明 92
主な仕様 93

安全に正しくお使いいただくために

**ご使用前にこの取扱説明書をお読みになって、正しく安全にお使いください。
また、お読みになった後は、いつでも見られるように必ずお手元に保管してください。**

- 安全に関する重要事項は、以下の表示と文章で示されます。あなたと他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、必ず守ってください。
- 表示の意味は、次のようになっています。

警告
この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

注意
この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される」内容を示します。

この記号は、決してしてはいけない「禁止」内容を表しています。図または文章で具体的な禁止内容を示します。

この記号は、必ず実行していただく「強制」内容を表しています。

電池について

⚠警告

本機で指定されてない電池を使わないでください。

火の中への投入、加熱、⊕と⊖極間のショート、分解をしないでください。

電池の極性（⊕と⊖）を逆に入れないでください。
電池は、液漏れ、発熱、発火、破裂する恐れがあります。
- 表面の被覆の破れた電池を使わないでください。
- 長期間使用しない時は、必ず電池を取り出して保管してください。
- 使用済みの電池は接点部分にテープを貼って絶縁し、一般廃棄物として各自治体の指示にしたがって廃棄してください。
- 使えなくなった電池は速やかに本機から取り出してください。液漏れの恐れがあります。

警告

電池は幼児・子供の手の届くところに置かないでください。
電池は幼児・子供が飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

警告

万一、使用中に異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、
① けがをしないように注意しながら速やかに電池を抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。
放置すると火災や火傷の原因となります。

本機について

警告

分解、修理、改造をしないでください。
感電やケガの恐れがあります。

警告

操作前から、音量を上げないでください。
聴覚障害、聴力低下を引き起こす恐れがあります。

車両(自転車、バイク、車など)の運転をしながら操作しないでください。
交通事故などの原因となります。

警告

この製品を幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。
幼児、子供の近くで使用する時は細心の注意を払い、不用意に製品から離れないでください。幼児、子供には警告・注意の内容の理解ができませんし、加えて以下のような事故の恐れがあります。例えば
— 誤ってイヤホンコードを首に巻き付け、窒息する。
— 操作を誤りケガや感電事故などを起こす。

警告

水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、
① 速やかに電池を抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の危険があります。

警告

航空機内や病院などで使用に制限のある場所でのご使用をお避けになるか、その場所の指示にしたがってください。

使用上のご注意

- 直射日光下の車の中や夏の海岸など、高温・多湿の場所に放置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。
- 水気がついたら、すぐに乾いた布で水分を拭き取りましょう。特に塩分は禁物です。
- 清掃する時、アルコールやシンナーなど、有機溶剤を使用しないでください。
- テレビ・冷蔵庫などの電気製品の上や近くに置かないでください。
- 砂や泥をかぶらないようにご注意ください。修理不可能なほどの故障になることがあります。
- 強い振動やショックを与えないでください。
- 水気の多い場所で使用しないでください。
- 磁気カード（銀行のキャッシュカードなど）をスピーカやイヤホンの近くに置くと、磁気カードに格納されたデータに異常が生じることがあります。

＜データ消失に関する注意事項＞

メモリへの記録内容は誤操作、機器の故障、修理などで破壊されたり消えることがあります。大切な記録内容はパソコンのハードディスク、MOなどのメディアにバックアップし、保存されることをおすすめします。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

ボイストレック（Voice-Trek）はオリンパス株式会社の登録商標です。

IBM、PC/ATは、International Business Machines Corporationの商標または登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows MediaはMicrosoft Corporationの登録商標です。

WOW、SRSと(●)記号はSRS Labs,Inc.の商標です。

WOW技術はSRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。

MP3オーディオ符号化技術はFraunhofer IIS社とThomson社からのライセンスに基づき製品化されています。

日本電気株式会社からのライセンスに基づくノイズキャンセル技術を利用し製品化されています。

その他の本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

こんな使いかたができます

主な特長

本商品は以下のような特長を備えております。

- **語学コンテンツの学習に最適な「デジタル音声レコーダー」機能に加えて、本格的な「デジタル音楽プレーヤー」機能を搭載しています。（☞ P19、52）**
- **本機をパソコンのUSBポートに直接接続するだけでパソコンとの連携を行います。USBケーブルやドライバソフトを使わずにデータの転送や保存ができます。（☞ P50）**
- **USBストレージクラス対応なので、パソコンの外部メモリとして、パソコンからデータの保存や読み出しができます。（☞ P87）**
  - パソコンとUSB接続し、画像ファイルやテキストなどを保存できるので、データの持ち運びにもご使用いただけます。
- **フルドット表示のバックライト付きディスプレイ（液晶表示パネル）を採用しています。（☞ P11）**

音声レコーダーの特長

- **録音した音声を高能率圧縮でデジタル変換し、WMA（Windows Media Audio）形式のファイルとして記録します。（☞ P19）**
- **内蔵ステレオマイクの採用により、ステレオXQ（ステレオ超高音質録音）、ステレオHQ（ステレオ高音質録音）によるステレオ録音モードと、HQ(高音質録音)、SP（標準録音）、LP（長時間録音）の３種類のモノラル録音モードが選択できます。（☞ P24）**

本機の録音時間(256MB)＊

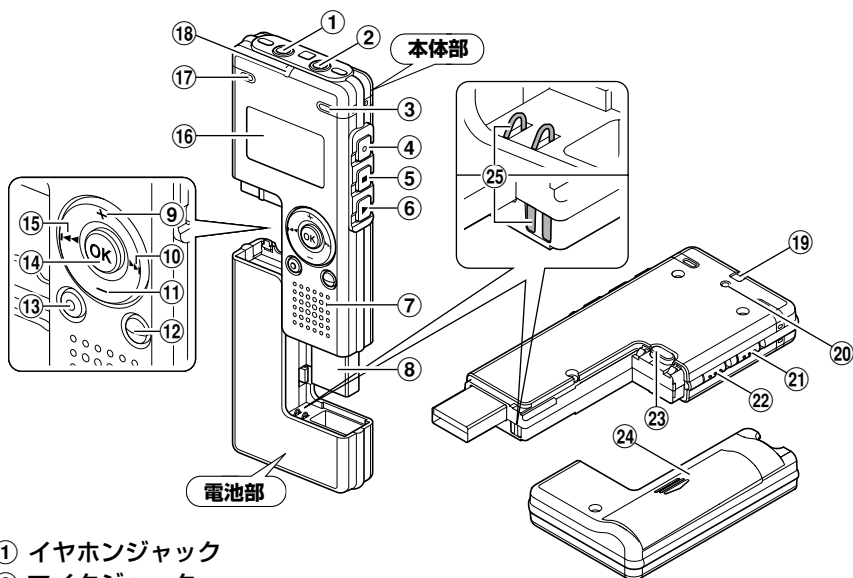
ステレオ XQ	約４時間 20 分
ステレオ HQ	約８時間 45 分
HQ	約 17 時間 35 分
SP	約 34 時間 40 分
LP	約 68 時間 55 分

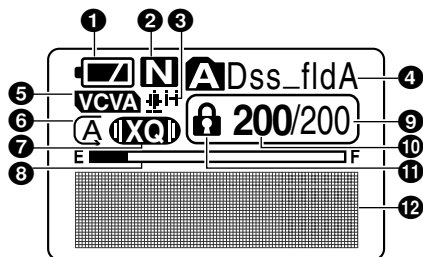
＊ 小刻みに録音を繰り返した場合は、録音可能時間がこれより短くなることがあります。（録音可能時間および録音時間表示はめやすとしてお使いください）

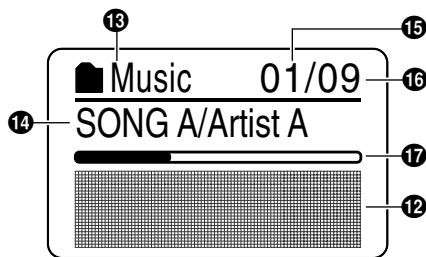
- 音声に反応して自動的に録音の開始・停止を行う、音声起動録音（VCVA ）機能を搭載しています。(☞ P22)
- インデックスマークやテンプマーク機能で、聞きたい場所をすばやく探すことができます。(☞ P40)
- 再生スピードをお好みに合わせて調節できます。(☞ P34)
- 多彩なリピート機能を搭載しています。(☞ P36、38)
- ノイズをカットして、音声をクリアに再生できるノイズキャンセル機能（☞ P42）と音声フィルタ機能（☞ P43）を搭載しています。
- 再生中に少しだけ戻って聞き直しができる少し前再生機能を搭載しています。(☞ P33)

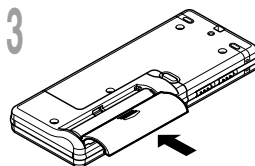
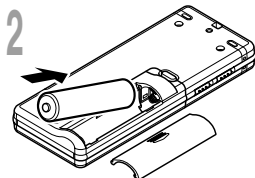
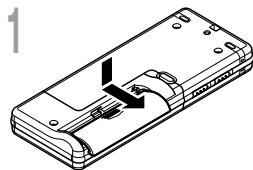
音楽プレーヤーの特長

- MP3とWMA形式のファイルが再生可能です。(☞ P58)
  - 本機では約 3 時間 20 分～ 11 時間 20 分の音楽データを収録できます。
- 臨場感を高める WOW 機能を搭載しています。(☞ P65)
- 再生イコライザーの切り替えが可能です。(☞ P67)

各部のなまえ

① イヤホンジャック
② マイクジャック
③ 内蔵ステレオマイク（R）
④ 録音ボタン
⑤ 停止ボタン
⑥ 再生ボタン
⑦ 内蔵スピーカ
⑧ USB 端子
⑨ 音量（＋）ボタン
⑩ ▶▶I ボタン
⑪ 音量（−）ボタン
⑫ リスト / インデックスボタン
⑬ 消去ボタン
⑭ OK ボタン
⑮ I◀◀ ボタン
⑯ ディスプレイ（液晶表示パネル）
⑰ 内蔵ステレオマイク（L）
⑱ 録音 / 再生表示ランプ
⑲ ストラップ取り付け部
⑳ USB アクセス表示ランプ
㉑ ホールドスイッチ
㉒ モード（学習 / 音楽）スイッチ
㉓ リリースボタン
㉔ 電池ぶた
㉕ 電池ボックス接続端子

ディスプレイ

学習モード表示画面

音楽モード表示画面

❶ 電池残量表示
❷ 再生エフェクト表示
❸ マイク感度表示
❹ フォルダ表示
❺ 音声起動録音（VCVA）表示
❻ 再生モード表示
❼ 録音モード表示
❽ メモリ残量バー（E/F バー）表示
❾ フォルダ内の総ファイル数
❿ ファイル番号
⓫ 消去ロック表示
⓬ 情報、警告表示部
⓭ フォルダ名表示
⓮ 曲名 / アーティスト名表示または
ファイル名 / 録音年月日表示
⓯ ファイル番号
⓰ フォルダ内の総ファイル数
⓱ 再生位置バー表示

電池を入れる

1 矢印部分を軽く押しながら、電池ぶたをスライドさせて開ける

2 単4形電池の⊕と⊖を正しい向きで入れる

3 電池ぶたを完全に閉める

電池を交換するめやす

電池の残量に応じてディスプレイの電池残量表示が次のようにかわります。

→ →

ディスプレイに マークが表示されたら、早めに新しい電池に交換してください。
電池がなくなると、 と「電池を交換して下さい」が表示され、動作が停止します。交換の際は単 4 形アルカリ乾電池の使用をおすすめします。

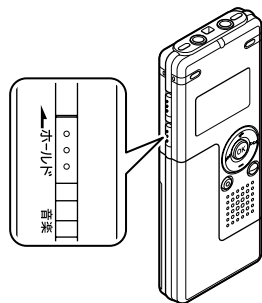
ニッケル水素充電池

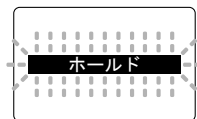
本機では、別売のオリンパス製ニッケル水素充電池をご使用いただけます。オリンパス製充電器と併せてご利用ください（☞ P91）。

ご注意

- 本機にはマンガン電池はご使用になれません。
- 電池の交換は必ず本機を停止状態（☞ P92）にしてから行ってください。
  本機が録音、消去などの動作中に電池を抜くと、ファイルが再生できなくなる恐れがあります。
- 本機から電池を抜いた状態が 15分以上続いたり、短い間隔で電池の出し入れを行うと、時刻の設定が必要になることがあります（☞ P14）。
- 長期間本機をご使用にならない場合は電池を取り外してください。

電源について

本機をお使いにならないときは、ホールドにすることで本機の電源が切れた状態になり、電池の消耗を最小限に抑えることができます。
電源を切っても既存のデータや各モードの設定、時計設定などは保持されます。電源を入れるときは、ホールドスイッチを解除してください。

電源を切る

本機が停止中にホールドスイッチをホールドにする
「ホールド」を2秒間点滅表示後、ディスプレイが消灯します。

電源を入れる

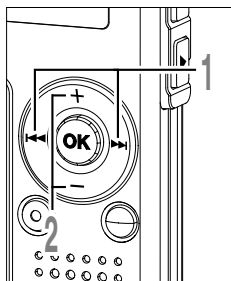
本機のホールドスイッチを解除する

省電力機能について

電源を入れて停止状態のまま５分以上経過すると、ディスプレイ表示が消え、省電力モードになります。省電力モードを解除するには、いずれかのボタンを押してください。

日付・時刻(Time & Date)を合わせる

日付と時刻を設定しておくと、「いつ録音した」という情報がファイルごとに自動で記録されます。録音したファイルの管理を容易にするために、あらかじめ設定しておくことをおすすめします。

ご購入後初めてお使いになるときや、長い間お使いにならないで電池を入れたときは、「時計を設定してください」と表示されます。「時」表示が点滅したら、次の手順から設定をしてください。

1 ▶▶|または|◀◀ボタンを押して設定対象を選ぶ

「時」「分」「年」「月」「日」のうち、設定したい項目に点滅を合わせてください。

時計設定
2006年 1 月 7 日
AM 1 2 時 5 6 分

2 ＋または－ボタンを押して設定する

以下同じように ▶▶| または |◀◀ ボタンで次の設定対象を選び、＋または－ボタンを押して、設定を行います。

時計設定
2006年 1 月 7 日
AM 1 2 時 5 6 分

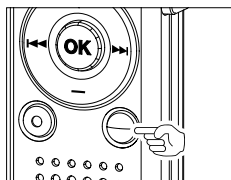
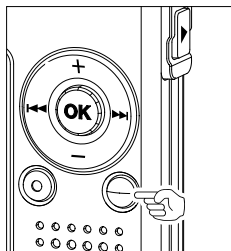
3 OKボタンを押して設定を完了する

設定した日時で本機の時計が動き始めます。時報などに合わせてOKボタンを押してください。

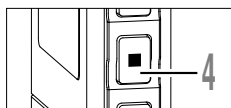
- 時、分の設定中、リスト / インデックスボタンを押すたびに、12 時間表示と 24 時間表示が切り替わります。

（例）午後 5 時 45 分の場合

PM5 時 45 分 ←→ 17 時 45 分

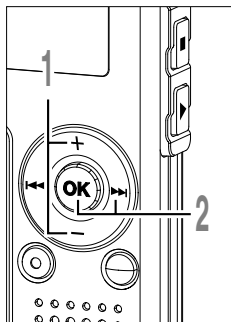
<初期設定>

- 年、月、日の設定中、リスト/インデックスボタンを押すたびに「年」「月」「日」表示の順序が切り替わります。

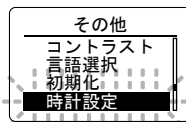
（例）2006年1月7日の場合

2006年1月7日 ＜初期設定＞
↓
1月7日2006年
↓
7日1月2006年

4 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- 設定の途中にOKボタンを押すと、それまでに確定した項目が設定され時計が動き始めます。

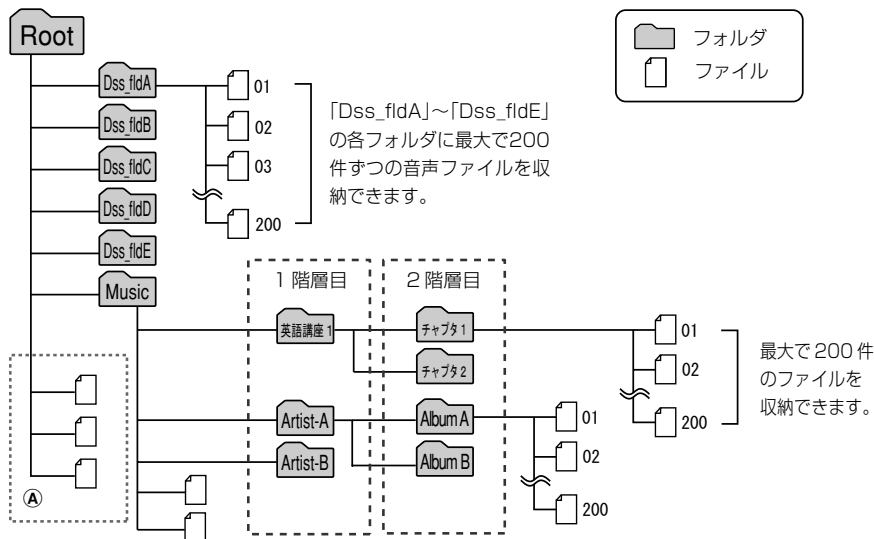
日付・時刻の設定をかえるには

1 「その他」画面で+または−ボタンを押して「時計設定」を選ぶ

「その他」については（☞ P46、70、77）をご覧ください。

2 OKまたは▶▶Iボタンを押す

「時」表示が点滅し、日付・時刻の設定を始めます。

以下は「日付・時刻を合わせる」の手順1からと同じです（☞ P14）。

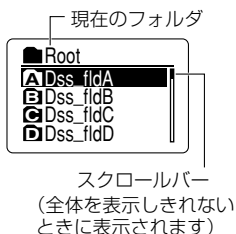
フォルダについて

本機のフォルダは全部で７つあり、ツリー型に構成されています。「Root」フォルダの下には「Dss_fldA」～「Dss_fldE」フォルダと「Music」フォルダがあり、録音した音声やパソコンから転送した語学・音楽などを「ファイル」として保存することができます。「Dss_fldA」～「Dss_fldE」フォルダは音声録音用フォルダで、本機で録音を行う場合は、この５つのフォルダのいずれかを選んで行ってください。各フォルダにつき最大２００ ファイルまで収納でき、「Music」フォルダ内には２階層までフォルダを作成できます。

ご注意

- 本機で操作できるフォルダは「Root」、「Dss_fldA」～「Dss_fldE」、「Music」を含め最大 128 フォルダです。
- Windows Media Player10 の場合、同期オプションを設定せずに「同期の開始」を押すと、上図 Ⓐ のところにすべてのファイルが転送されます（☞ P55）。

フォルダとファイルの選択について

リスト表示画面

本機に記録されているフォルダとファイルがリスト表示されます。

ファイル表示画面

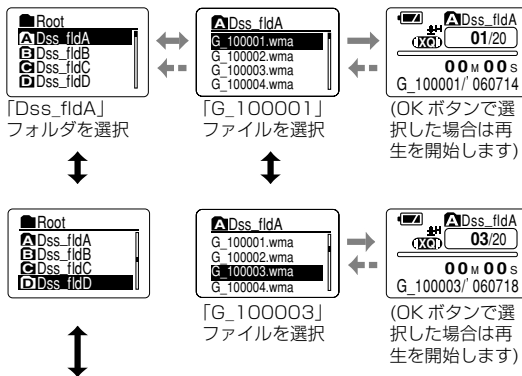
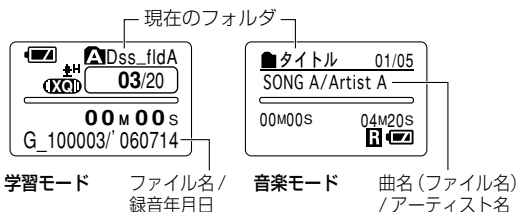
選択したファイルの情報が表示されます。再生待機状態になります。

「Dss_fldA」フォルダを選択

「G_100001」ファイルを選択

(OKボタンで選択した場合は再生を開始します)

「G_100003」ファイルを選択

(OKボタンで選択した場合は再生を開始します)

＋または－ボタン：カーソルが上下に移動します。

▶▶Iまたは OK ボタン：選択しているフォルダ(ファイル)を開きます。

I◀◀ボタン：1つ上の階層に戻り、リスト表示します。

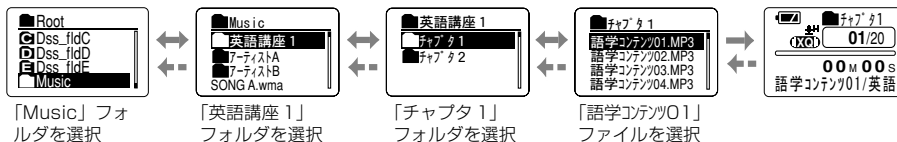
リストボタン：1つ上の階層に戻り、リスト表示します。

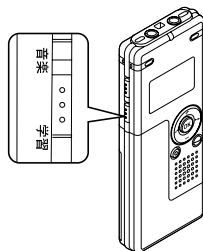
* ファイルのリスト表示中に再生ボタンを押しても、ファイルの再生を開始します。

「Music」フォルダを選択

「英語講座 1」フォルダを選択

「チャプタ 1」フォルダを選択

「語学コンテンツ01」ファイルを選択

学習モードと音楽モードの切り替え

本機は学習モード（音声レコーダー）と音楽モード（音楽プレーヤー）の２種類の機能を備えています。使用目的に合わせてモード（学習／音楽）スイッチを切り替えてください。

モードスイッチで学習か音楽を選ぶ

学習 ..... 語学コンテンツの学習や、用件を録音・再生するとき
音楽 .... 音楽ファイルを再生するとき

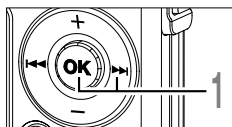
本書で使われるアイコンについて

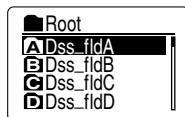
モードスイッチを学習に切り替えてから本機の操作を行ってください。

モードスイッチを音楽に切り替えてから本機の操作を行ってください。

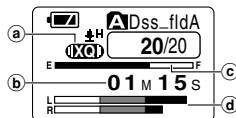
モードスイッチが学習でも音楽でも本機の操作は可能です。

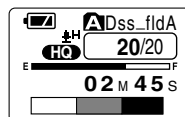
学習 録音する

録音を始める前に A ～ E の音声録音用フォルダを選んでください。A フォルダはプライベート用、B フォルダはビジネス用といったように、録音する内容によって使い分けると便利です。新しく録音した音声は、選択したフォルダの一番後ろのファイルとして保存されます。

1 フォルダを選ぶ

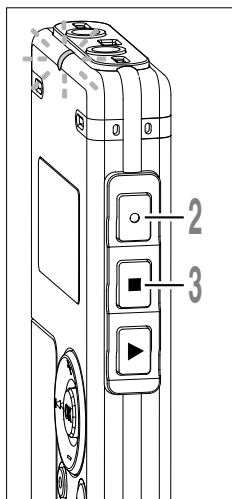
カーソルを録音するフォルダに合わせるか、▶▶|またはOKボタンを押して、録音するフォルダを開きます(☞ P16)。

2 録音ボタンを押して録音を開始する

録音/再生表示ランプが赤く点灯し、録音を始めます。

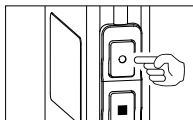
録音したい方向に内蔵ステレオマイクを向けます。ディスプレイの表示は録音モード(☞ P24)により異なります。

ステレオ録音時表示画面

- ⓐ 現在の録音モード
- ⓑ 現在の録音経過時間
- ⓒ メモリ残量バー表示
- ⓓ レベルメータ（録音音量に合わせて変化します）

モノラル録音時表示画面

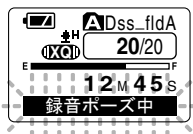
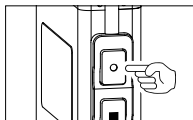
録音中にOKボタンを押すたびに、ⓑの位置に「録音経過時間」と「録音可能な残り時間」を交互に表示します。

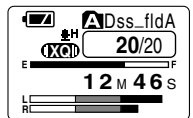
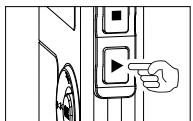
3 停止ボタンを押して録音を止める

ご注意

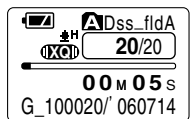
- A ～ E 以外のフォルダを選んで録音ボタンを押すと、「A～Eフォルダで録音してください」が点滅します。改めて A ～ E のいずれかのフォルダを選んでから録音を始めてください。
- モードスイッチが「音楽モード」になっている状態で録音ボタンを押すと、「音楽再生モードです」が点滅します。モードスイッチを「学習モード」に切り替えてから録音を始めてください（☞ P18）。
- 頭切れを防ぐために、録音/再生表示ランプの点灯を確認してから録音を行ってください。
- 録音可能な残り時間が 60 秒、30 秒、10 秒になったときに警告音が鳴ります。
- 録音可能な残り時間が 60 秒になると録音/再生表示ランプが点滅を始め、30 秒、10 秒と残量が減るにつれて点滅が早くなります。
- ディスプレイに「メモリーがいっぱいです」や「これ以上記録できません」と表示されたときは、メモリやファイル件数がいっぱいです。不要なファイルを消去してから録音をしてください（☞ P72）。

一時停止するには

録音中に**録音**ボタンを押す。

➡ ディスプレイの「録音ポーズ中」が点滅します。

- 録音一時停止のまま 60 分以上過ぎると停止状態になります。

一時停止を解除するには

録音ボタンをもう一度押す。

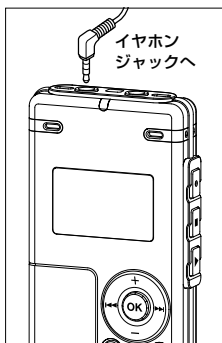
➡ 一時停止したところから録音を再開します。

録音内容をすばやく確認するには

録音中に**再生**ボタンを押す。

➡ 録音を中断し、今録音したファイルが再生されます。

録音中の音声を聞くときは（録音モニター）

イヤホン
ジャックへ

イヤホンを本機のイヤホンジャックに差し込むと、録音中の音声を聞くことができます。録音モニターの音量は音量（+）または音量（−）ボタンを押して調節できます。

本機のイヤホンジャックにイヤホンを接続する

➥ 録音を開始すると録音中の音声をイヤホンで聞くことができます。イヤホンを接続すると、スピーカから音は出ません。

ご注意

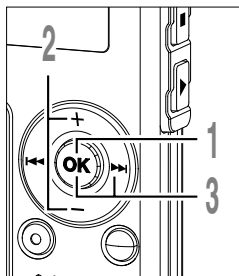
- 音量を変えても録音レベルは変化しません。
- 耳への刺激を避けるため、音量を0にしてからイヤホンを入れてください。

録音に関する設定

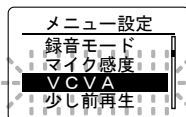
ご購入後すぐにステレオ録音ができるようにステレオHQモードが設定されていますが、ほかにもステレオ XQ モード、モノラル録音の HQ、SP、LP モードが設定できます。状況に応じた録音モードをお選びください。
また本機は、メモリの節約ができる音声起動録音機能(VCVA)やマイク感度も設定できます。詳しくは下記のページを参照してください。

録音モード：ステレオ XQ(ステレオ超高音質録音)モード / ステレオ HQ (ステレオ高音質録音) モード /HQ (高音質録音)モード /SP (標準録音) モード /LP (長時間録音) モード（☞ P24）
マイク感度：会議 / 口述（☞ P25）
音声起動録音(VCVA)：OFF/ON（☞ P22）

音声起動録音（VCVA）のしかた

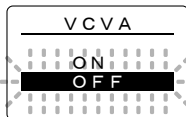
音声起動録音（VCVA）とは、設定した起動感度よりも大きな音声を感知すると自動的に録音が始まり、音声が小さくなると自動的に録音を一時停止する機能です。
会議中の長い沈黙などを自動的にカットして録音することによりメモリを節約することができます。

1 OKボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります(☞ P46、76)。

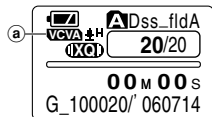
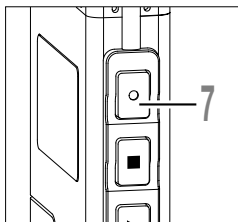
2 ＋または－ボタンを押して「VCVA」を選ぶ

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

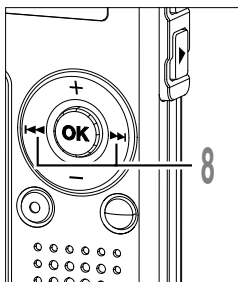
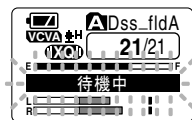
VCVAの設定を始めます。

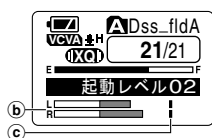
4 ＋または－ボタンを押して「ON」か「OFF」を選ぶ

ON…以降は音声起動録音になります。
OFF…通常の録音に戻ります。

5 OKまたはI◀◀ボタンを押して設定を完了する

6 停止またはI◀◀ボタンを押してメニュー画面を終了する

「ON」を選択するとディスプレイにVCVA表示が点灯します。

ⓐ VCVA 表示

7 録音ボタンを押して録音を開始する

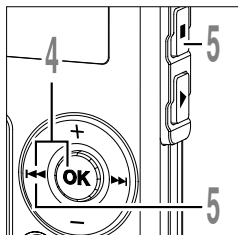
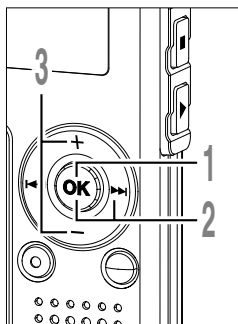
設定した起動感度より音が小さくなると約1秒後に自動的に録音が一時停止します。このときディスプレイに「待機中」が点滅します。録音起動中は録音/再生表示ランプが赤く点灯し、一時停止すると点滅します。

8 録音中に▶▶Iまたは I◀◀ボタンを押してVCVAの起動レベルを調節する

ディスプレイにVCVA起動レベルが15段階(1〜15)で表示されます。数字が大きくなるほどVCVAの起動感度は高くなり、小さな音でも録音が始まるようになります。

ⓑ **レベルメータ**（録音音量に合わせて変化します）
ⓒ **起動レベル**（設定レベルに応じて左右に動きます）

ご注意

- 起動レベルは設定されているマイク感度により異なります（☞ P25）。
- 起動レベルの調節は 2 秒以内に行わないと表示が元に戻ります。
- まわりの雑音が大きいなど、録音状況に応じて VCVA の起動感度を調節することができます。
- 失敗のない録音を行うために、事前に試し録音で起動感度を調節することをおすすめします。

録音モード(Rec Mode)をかえる

録音モードは、ステレオXQ(ステレオ超高音質録音)、ステレオHQ(ステレオ高音質録音)、HQ(高音質録音)、SP(標準録音)、LP(長時間録音)から選ぶことができます。

1 OKボタンを1秒以上押す

ディスプレイに「録音モード」が表示されます(☞ P46、76)。

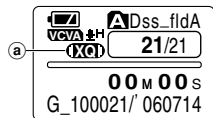
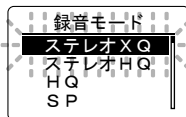
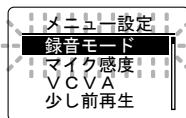
2 OKまたは▶▶Iボタンを押す

録音モードの設定を始めます。

3 +または−ボタンを押して「ステレオXQ」、「ステレオHQ」、「HQ」、「SP」、「LP」から選ぶ

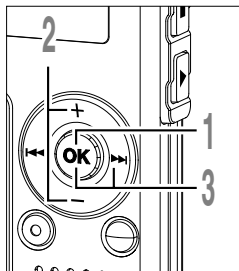
4 OKまたはI◀◀ボタンを押して設定を完了する

5 停止またはI◀◀ボタンを押してメニュー画面を終了する

ⓐ 録音モード表示

ご注意

- 会議や講演会などをはっきりと録音したい場合は、LPモード以外に設定して録音してください。
- ステレオXQモードまたはステレオHQモードでマイクジャックにモノラルマイクを挿入して録音した場合、Lチャンネルのみに音声が録音されます。

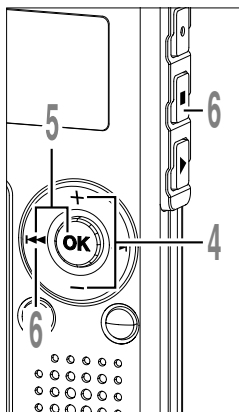
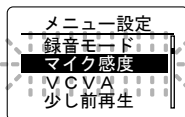
マイク感度（Mic Sense）をかえる

使用目的に合わせてマイクの感度を切り替えることができます。

1 OKボタンを1秒以上押す

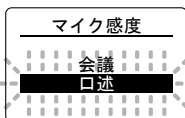
メニュー画面に入ります(☞ P46、76)。

2 ＋または－ボタンを押して「マイク感度」を選ぶ

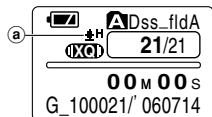
3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

マイク感度の設定を始めます。

4 ＋または－ボタンを押して「会議」か「口述」を選ぶ

会議…周囲の音も録音できる高感度モードです。

口述…口述録音に適した通常感度モードです。

5 OKまたはI◀◀ボタンを押して設定を完了する

6 停止またはI◀◀ボタンを押してメニュー画面を終了する

ⓐ マイク感度表示

ご注意

- 話し手の声をはっきりと録音したい場合は口述モードにして、本機の内蔵ステレオマイクを話し手の口に近づけて（5～10cm）録音してください。
- 口述モードで録音しても、周囲の雑音が録音に影響する場合は単一指向性マイクロホンME12（別売）のご使用をおすすめします。

外部マイクや他の機器から録音する

外部マイクや他の機器を接続し、音声を録音することができます。お使いになる機器により、次のように接続してください。

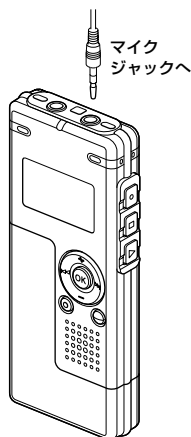
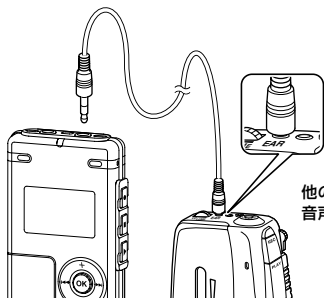
外部マイクで録音する

マイク
ジャックへ

本機のマイクジャックに外部マイクを接続する

本機のマイクジャックに外部マイクをつなぐと、内蔵マイクは動作しなくなります。

ご使用いただける外部マイク

- **単一指向性モノラルマイクロホン：ME12（別売）**
  周囲の雑音の影響を軽減して、ご自身の声を録音したい場合に使用します。
- **モノラルタイピンマイク：ME15（別売）**
  タイピン型ホルダー付きの目立たない小型マイクです。
- **モノラルテレホンピックアップ：TP7（別売）**
  イヤホン型マイクを耳に入れてそのまま通話。電話の声や会話を明瞭に録音できます。
- **ステレオマイクロホン：ME51SW（別売）**
  大口径マイク内蔵で、より高感度のステレオ録音が可能です。ステレオ録音はステレオXQモードまたはステレオHQモード設定時のみ可能です。

他の機器の音声を本機で録音する

他の機器の音声出力端子(イヤホンジャック)と本機のマイクジャックをダビング用コネクティングコードでつなぐと、その音声を録音できます。

本機の音声を他の機器で録音する

他の機器の音声入力端子(マイクジャック)と本機のイヤホンジャックをダビング用コネクティングコードでつなぐと、本機の音声を他の機器へ録音できます。

ご注意

- 本機と他の機器の接続はダビング用コネクティングコード(KA333)で行ってください。
- 本機では入力レベルの調節はできません。外部機器を接続するときは試し録音をして、外部機器の出力レベルを調節してください。
- 本機から電源の供給を受けるプラグインパワー対応のマイクもご使用になれます。
- 本機のジャックへの抜き差しは、録音中に行わないでください。
- HQ、SP、LPモード設定中に外部ステレオマイクを挿入した場合、Lチャンネルのみでの録音になります。
- ステレオXQモードまたはステレオHQモードでマイクジャックにモノラルマイクを挿入した場合、Lチャンネルのみに音声が録音されます。

語学コンテンツを取り込む

語学CDやインターネットからパソコンに取り込んだ語学コンテンツを、本機に転送して再生することができます。本機は WMA 形式、MP3 形式の語学コンテンツに対応しています。

CD からコピーする

CD からパソコンに語学コンテンツをコピーする。

➡ 詳細は音楽プレーヤーの「CD から音楽をコピーする」(☞ P54)をご覧ください。

パソコンから本機へ転送する

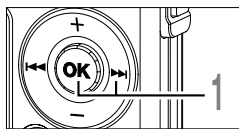
パソコンにコピーした語学コンテンツを本機へ転送する。

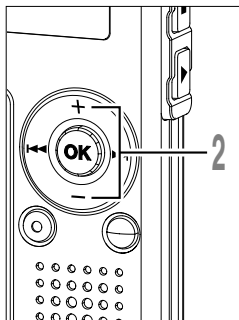
➡ 詳細は音楽プレーヤーの「音楽ファイルを本機に転送する」(☞ P55)をご覧ください。

ダイレクト録音する

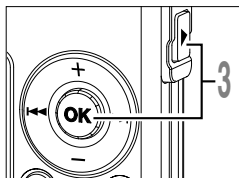
他の機器と本機をつないで直接本機へ録音する。

➡ 詳細は「他の機器の音声を本機で録音する」(☞ P27)をご覧ください。

学習 再生する

1 フォルダを選ぶ

カーソルを再生したいフォルダに合わせ、▶▶|またはOKボタンを押して、フォルダを開きます(☞ P16)。

2 ファイルを選ぶ

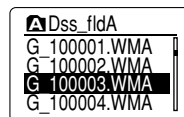
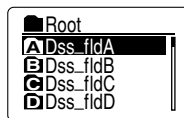
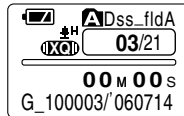
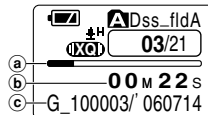
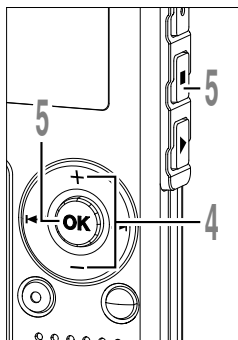
リスト表示画面では、+または−ボタンを押して再生したいファイルにカーソルを合わせます。

ファイル表示画面の場合は▶▶| または |◀◀ ボタンを押してファイルを選びます。ファイル表示画面からリスト表示画面に戻る場合やリスト表示画面で一つ上の階層のリスト表示に戻る場合は、リストボタンを押します。

リスト表示画面

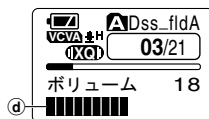
ファイル表示画面

3 再生またはOKボタンを押して再生を開始する

録音/再生表示ランプが緑色に点灯します。

ⓐ 再生位置バー表示
ⓑ 再生中のファイルの経過時間
ⓒ 再生中のファイル名 / 録音年月日

4 ＋または－ボタンを押して聞きやすい音量にする

ディスプレイにボリュームレベルが31段階(0～30)で表示されます。

ⓓ ボリュームレベルメータ

5 停止またはOKボタンを押して再生を停止する

再生していたファイルの途中で停止します。再生またはOKボタンを押すと、停止していたところから再生を開始します。

早送りをするには

停止中に ▶▶I ボタンを押し続ける。

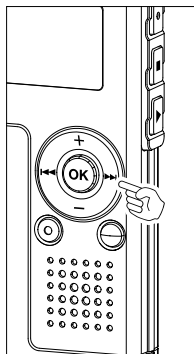
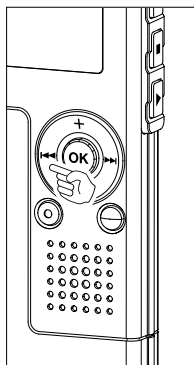
➥ ボタンから手を離すと停止します。再生またはOKボタンを押すと、その位置から再生します。

ⓐ ファイルの長さ

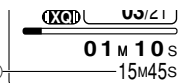
再生中に ▶▶I ボタンを押し続ける。

➥ ボタンから手を離すと、その位置から再生します。

- ファイルの途中にインデックスマークやテンプマーク (☞ P40) がついているときは、その位置でいったん停止します。
- ファイルの終わりまで進むといったん停止します。さらに▶▶Iボタンを押し続けると、次のファイルの先頭から早送りを続けます。

早戻しをするには

停止中に ⏮◀ ボタンを押し続ける。

➥ ボタンから手を離すと停止します。再生または OKボタンを押すと、その位置から再生します。

ⓐ **ファイルの長さ**

再生中に ⏮◀ ボタンを押し続ける。

➥ ボタンから手を離すと、その位置から再生します。

- ファイルの途中にインデックスマークやテンプマーク（☞ P40）がついているときは、その位置でいったん停止します。
- ファイルの先頭まで戻るといったん停止します。さらに⏮◀ボタンを押し続けると、前のファイルの終わりから早戻しを続けます。
- 先頭ファイルの開始位置で停止中に⏮◀ボタンを押し続けると、最終ファイルの終わりから早戻しを行います。

ファイルの頭出しをするには

再生中、遅聞き、早聞き中に ▶▶| ボタンを押す。

➥ 次のファイルの頭出しをして、元の早さで再生を始めます。

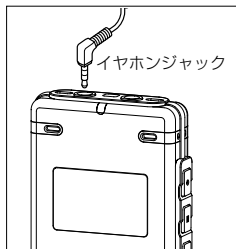
再生中、遅聞き、早聞き中に ⏮◀ ボタンを押す。

➥ 再生中のファイルの頭出しをして、元の速さで再生を始めます。*

再生中、遅聞き、早聞き中に ⏮◀ ボタンを 2 回押す。

➥ 1 つ前のファイルの頭出しをして、元の速さで再生を始めます。*

- ファイルの途中にインデックスマークやテンプマーク（☞ P40）がついているときは、その位置でいったん停止します。

* 少し前再生が設定されている場合（☞ P33）、設定時間分だけ逆スキップして再生を始めます。

イヤホンで聞くとき

本機のイヤホンジャックにイヤホンを接続して聞くことができます。
➥ イヤホンを接続すると、スピーカから音は出ません。

ご注意

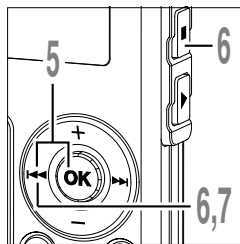
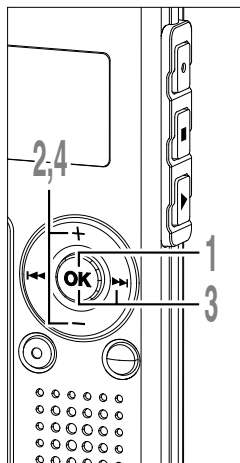
- 耳への刺激を避けるため、ボリュームレベルを0にしてからイヤホンを入れてください。
- 再生中イヤホンで聞く時は音量をあまり上げないでください。聴覚障害、聴力低下を引き起こす恐れがあります。

再生に関する設定

この他にも本機の学習モードでは語学コンテンツの学習に効果的にご利用いただける各種の再生機能を備えています。詳しくは下記のページを参照してください。

少し前再生：　OFF/1 秒前 /2 秒前 /3 秒前 /4 秒前 /5 秒前（☞ P33）
再生モード：　ファイル / ファイルリピート / フォルダ / フォルダリピート / 全ファイル / 全ファイルリピート（☞ P36）
ノイズキャンセル：HIGH/LOW/OFF（☞ P42）
音声フィルタ：　ON/OFF（☞ P43）
再生スピード：　0.875/0.75/0.625/0.5 倍速
1.5/1.375/1.25/1.125 倍速（☞ P34）
部分リピート：　設定（☞ P38）

少し前再生（Back Space）のしかた

再生中のファイルを設定した秒数だけ戻って再生することができる機能で、短いフレーズを繰り返し再生するときに便利です。

1 **停止中または再生中にOKボタンを1秒以上押す**

メニュー画面に入ります(☞ P46、76)。

2 **＋または－ボタンを押して「少し前再生」を選ぶ**

3 **OKまたは▶▶|ボタンを押す**

少し前再生の設定を始めます。

4 **＋または－ボタンを押して「OFF」、「1秒前」、「2秒前」、「3秒前」、「4秒前」、「5秒前」から選ぶ**

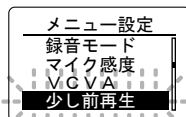
OFF…通常の頭出しを行います。

1秒前、2秒前、3秒前、4秒前、5秒前…
それぞれの秒数戻って再生を始めます。

5 **OKまたは|◀◀ボタンを押して設定を完了する**

6 **停止または|◀◀ ボタンを押してメニュー画面を終了する**

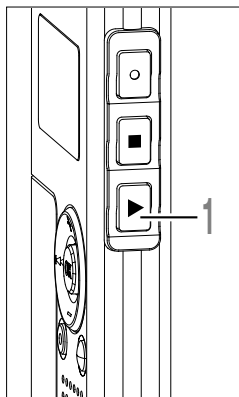
7 **ファイルを再生中に|◀◀ボタンを押す**

設定した秒数を戻って再生を始めます。

ご注意

- 少し前再生で「1秒前」から「5秒前」のいずれかを設定すると、|◀◀ ボタンを押しても頭出しや、インデックスマークの位置に逆スキップしません。設定した時間（1秒間から5秒間）だけ逆スキップを行います。

再生スピード（Play Speed）をかえる

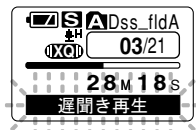
再生スピードを0.5倍速から1.5倍速の間で0.125倍刻みで変更できます。会議の内容を早聞きしたり、語学学習で聞き取れなかった箇所を遅聞きするなど、必要に応じて切り替えてください。デジタル処理により、音程をかえずに音声を自動調整するため、違和感なく聞き取ることができます。

再生スピードを変更する

1 再生中に再生ボタンを押す

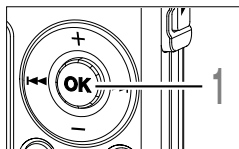
再生ボタンを押すたびに再生スピードが切り替わります。

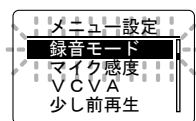
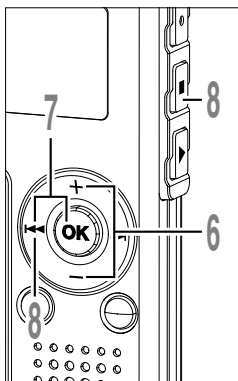
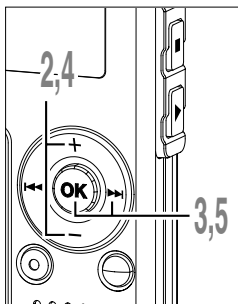
通常再生…通常の再生スピードです。

遅聞き再生…再生スピードが遅くなり、「S」マークが点灯します。（初期設定は0.75倍速）

早聞き再生…再生スピードが速くなり、「F」マークが点灯します。（初期設定は1.5倍速）

再生を停止しても、変更した再生スピードはそのまま保持します。次回の再生では変更した速さで再生を行います。

再生スピードの設定を変更する

「遅聞き再生」・「早聞き再生」の再生スピードの設定を変更できます。

1 停止中または再生中にOKボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります（☞ P46、76）。

2 ＋または－ボタンを押して「再生スピード」を選ぶ

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

再生スピードの設定を始めます。

4 ＋または－ボタンを押して「遅聞き再生」か「早聞き再生」を選ぶ

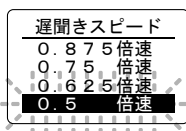
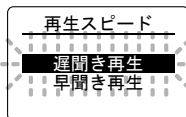
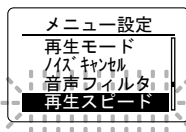
5 OKまたは▶▶Iボタンを押す

遅聞き･早聞きそれぞれの設定を始めます。

6 ＋または－ボタンを押して設定したい再生スピードにカーソルを合わせる

遅聞き再生･･･0.5、0.625、0.75、0.875
早聞き再生･･･1.125、1.25、1.375、1.5

再生中にメニュー画面に入った場合は、カーソルを動かすとそれに合わせて再生スピードも変化します。

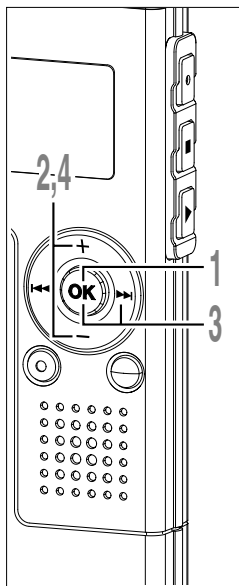
7 OKまたはI◀◀ボタンを押して設定を完了する

8 停止またはI◀◀ボタンを押してメニュー画面を終了する

遅聞き･早聞き再生機能と音声フィルタ機能(☞ P43)を同時に使用すると、ディスプレイに「V」マークが表示されます。早聞き･遅聞き再生のときも通常再生と同じように、再生の停止、ファイルの頭出し、インデックスマーク(☞ P40)の挿入などの操作ができます。

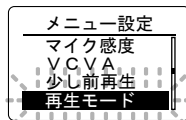
ご注意

- ノイズキャンセル設定中は、遅聞き・早聞き再生はできません。
- 遅聞き･早聞き再生中は、ステレオXQモードまたはステレオHQモードで録音されたファイルでもモノラル再生されます。

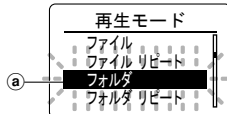
再生モード(Play Mode)を選ぶ

6 種類の再生モードを設定することができます。ファイル単位、フォルダ単位で再生するか、本機にある全ファイルを再生するかをお選びいただけます。

1 停止中または再生中にOKボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります(☞ P46、76)。

2 ＋または－ボタンを押して「再生モード」を選ぶ

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

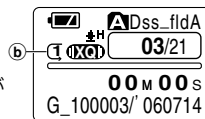
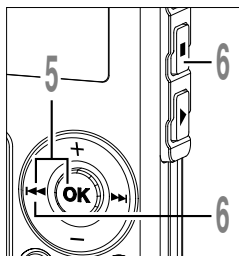
再生モードの設定を始めます。

ⓐ 現在の再生モード

4 ＋または－ボタンを押して設定したい再生モードを選ぶ

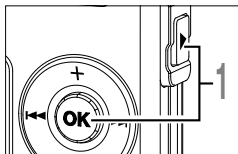
ファイル…現在のファイルを再生後に停止。
ファイルリピート…現在のファイルを繰り返して再生。
フォルダ…現在のフォルダ内の最終ファイルまで連続再生して停止。
フォルダリピート…現在のフォルダ内の全ファイルを繰り返し連続再生。
全ファイル…本機内の全ファイルを連続再生して停止。
全ファイルリピート…本機内の全ファイルを繰り返し連続再生。

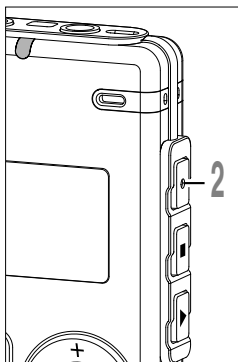
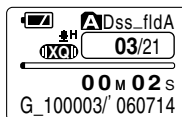
5 OKまたはI◀◀ボタンを押して設定を完了する

6 停止またはI◀◀ボタンを押してメニュー画面を終了する

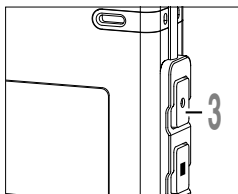
設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

ⓑ 設定した再生モード表示

• 「ファイル」か「フォルダ」を設定した状態で、フォルダ内の最終ファイルの終わりまで進むと、ディスプレイに「ファイルエンド」が 2 秒間点滅し、先頭ファイルの開始位置で停止します。
• 「全ファイル」に設定すると、フォルダ内の最終ファイルを再生後、次のフォルダの先頭ファイルから再生を始めます。本機内の最終ファイルの終わりまで進むと、ディスプレイに「ファイルエンド」が 2 秒間点滅し、本機内の先頭ファイルの開始位置で停止します。

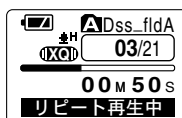
部分リピート再生のしかた

再生中のファイルの一部分を繰り返し再生することができます。

1 部分リピートしたいファイルを選び、再生またはOKボタンを押す

ファイルの再生を開始します。

2 部分リピート再生の開始位置で録音ボタンを押す

「終了位置？」が点滅します。

この「終了位置？」の点滅中も通常の再生中と同じように再生スピードの切り替え（☞P34）や、早送り・早戻し（☞P30、31）が行え、終了位置まで早く進めることができます。「終了位置？」の点滅中にファイルの終わりまで到達した場合は、そこが終了位置になり、リピート再生を開始します。

3 部分リピート再生を終了させたい位置で、もう一度録音ボタンを押す

「リピート再生中」が表示され、リピート再生を開始します。
部分リピート再生を解除するまで、繰り返し再生します。

部分リピート再生中も通常再生と同じように、再生スピード（☞P34）をかえることができます。また部分リピート再生中にインデックスマークやテンプマーク（☞ P40）の挿入・消去を行うと部分リピート再生が解除され、通常の再生に戻ります。

部分リピート再生を解除する

OK ボタンを押す。

➥ 部分リピート再生が解除され、再生が停止します。

停止ボタンを押す。

➥ 部分リピート再生が解除され、再生が停止します。

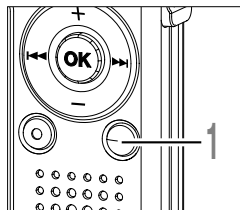
▶▶I ボタンを押す。

➥ 部分リピート再生が解除され、早送り、頭出しになります。

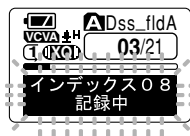
I◀◀ ボタンを押す。

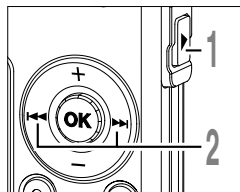
➥ 部分リピート再生が解除され、早戻し、頭出しになります。

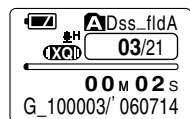
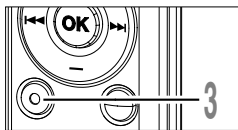
インデックスマーク・テンプマークをつける

インデックスマークやテンプマークをつけると、早送り・早戻し（☞ P30、31）やファイルの頭出し操作（☞ P31）で、聞きたい位置をすばやく探すことができます。オリンパス製ICレコーダー以外の機器で作成されたファイルにはインデックスマークがつけられませんが、代わりにテンプマークをつけることで聞きたい位置の一時記憶ができます。

インデックス・テンプマークをつける

1 録音中または再生中にインデックスボタンを押してインデックスマークまたはテンプマークをつける

ディスプレイに番号が表示されインデックスマークまたはテンプマークがつきます。
インデックス・テンプマークをつけた後も録音または再生は続きますので、同様の操作で別の場所にインデックス・テンプマークをつけることができます。

インデックスマークを消去する

インデックスマークは以下の手順にしたがって消去してください。

1 消去したいインデックスマークのあるファイルを再生する

2 ►►I または I◄◄ ボタンを押して消去したいインデックスマークを選ぶ

3 ディスプレイにインデックス番号が表示されている間(約2秒間)に**消去**ボタンを押す

インデックスマークが消去されます。

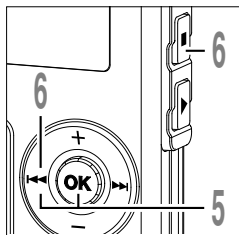
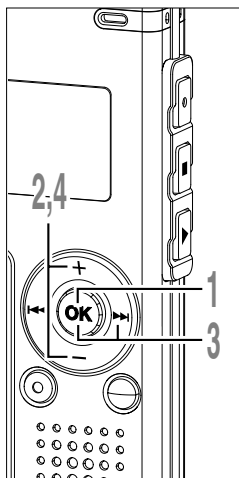
消去したインデックスマーク以降のインデックス番号は自動的に繰り上がります。

テンプマークは一時的なマーキングなので、他のファイルへの移動、リスト表示画面への切り替え、パソコンとの接続などを行うと自動的に消去されます。

ご注意

- インデックスやテンプマークは1つのファイル内に最大で16件までつけることができます。16件を超えてインデックスやテンプマークをつけようとすると、「これ以上記録できません」と表示されます。
- 消去ロック(☞ P44)をかけてあるファイルは、インデックスやテンプマークをつけたり消去することができません。
- 少し前再生(☞ P33)で「1秒前」から「5秒前」のいずれかを設定した状態で⏮ボタンを押すと、設定時間分だけ逆スキップします。

ノイズキャンセルを設定する（Noise Cancel）

録音した音声が聞き取りにくいときはノイズキャンセルを設定してください。周囲の雑音を低減し、よりクリアな音質で再生します。

1 停止中または再生中にOKボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります(☞ P46、76)。

2 ＋または－ボタンを押して「ノイズキャンセル」を選ぶ

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

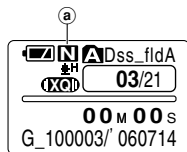
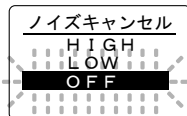
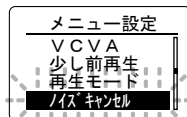
ノイズキャンセルの設定を始めます。

4 ＋または－ボタンを押して「HIGH」、「LOW」、「OFF」から選ぶ

＋または－ボタンを押すたびに、「HIGH」「LOW」「OFF」の順番でノイズキャンセルレベルが切り替わります。再生中にメニュー画面に入った場合は、カーソルを動かすとそれに合わせて再生音も切り替わります。

5 OKまたはI◀◀ボタンを押して設定を完了する

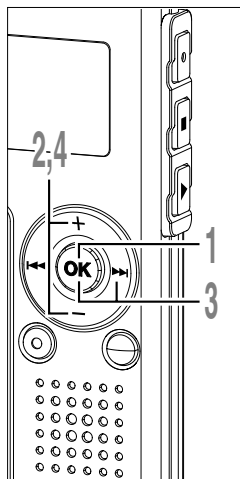
6 停止またはI◀◀ ボタンを押してメニュー画面を終了する

ディスプレイに「N」マークが表示されます。

ⓐ ノイズキャンセル表示

ご注意

- ノイズキャンセルレベルを「LOW」または「HIGH」にすると、その設定は「OFF」にするまで有効になります。
- 早聞き・遅聞き再生中（☞ P34）は、ノイズキャンセルを使用できません。
- 音声フィルタ機能を設定中（☞ P43）は、ノイズキャンセルを使用できません。

音声フィルタ（Voice Filter）を設定する

本機には再生時に、低音域と高音域成分をカットし、音声をよりクリアに強調する音声フィルタ機能を搭載しています。

1 停止中または再生中にOKボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります(☞ P46、76)。

2 ＋または－ボタンを押して「音声フィルタ」を選ぶ

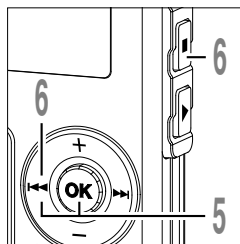
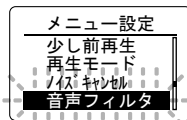
3 OKまたは▶▶|ボタンを押す

音声フィルタの設定を始めます。

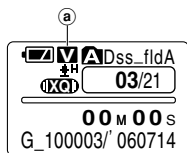
4 ＋または－ボタンを押して「ON」か「OFF」を選ぶ

ON…音声フィルタをかけます。

OFF…音声フィルタを解除します。

再生中にメニュー画面に入った場合は、設定を変更するたびに再生音も切り替わります。

5 OKまたは|◀◀ボタンを押して設定を完了する

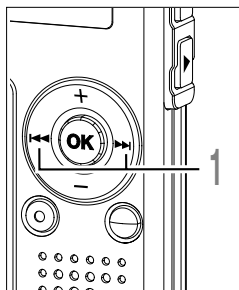
6 停止または|◀◀ボタンを押してメニュー画面を終了する

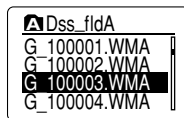
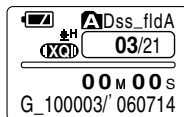
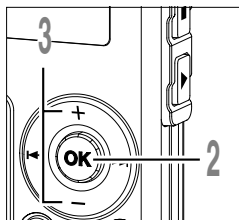
「ON」を設定すると、ディスプレイに「V」が表示されます。

ⓐ 音声フィルタ表示

ご注意

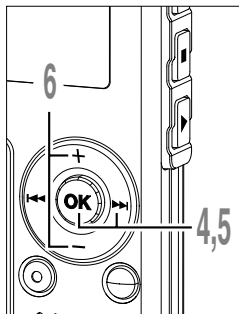
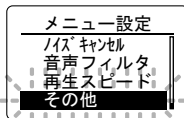
• ノイズキャンセルを設定中は、音声フィルタ機能は使用できません。

誤消去を防止（Lock）する

ファイルに消去ロックをかけることにより、重要なファイルの誤消去を防止できます。
また、フォルダ内のファイル全消去を行っても消去されません（☞ P73）。

1 消去ロックをかけたいファイルを選ぶ

リスト表示画面では、カーソルを消去ロックをかけたいファイルに合わせます。ファイル表示画面の場合は▶▶Iまたは I◀◀ボタンを押してファイルを選びます。

リスト表示画面

ファイル表示画面

2 OKボタンを1秒以上押す

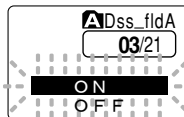
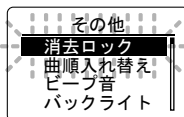
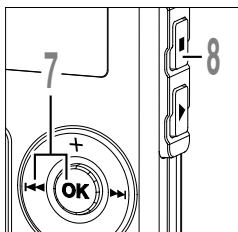
メニュー画面に入ります（☞ P46、76）。

3 ＋または－ボタンを押して「その他」を選ぶ

4 OKまたは▶▶Iボタンを押す

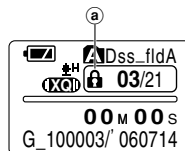
5 もう一度OKまたは▶▶Iボタンを押す

消去ロックの設定を始めます。

6 ＋または－ボタンを押して「ON」か「OFF」を選ぶ

ON…消去ロックがかかります。
OFF…消去ロックが解除されます。

7 **OK**または**I◀◀**ボタンを押して設定を完了する

8 **停止**ボタンを押してメニュー画面を終了する

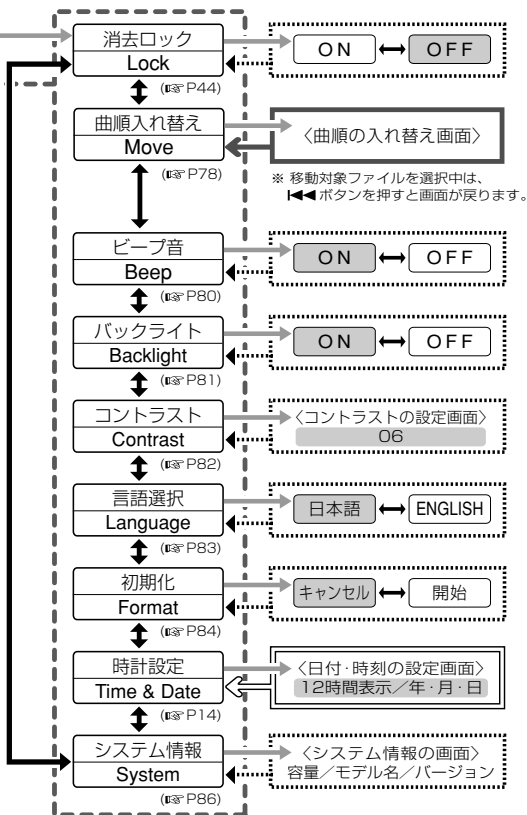
ⓐ 消去ロック表示

メニューの一覧（音声レコーダー編）

メニュー

上段：日本語表示
下段：ENGLISH表示

OKボタンを1秒以上押す

メニュー	設定
録音モード / Rec Mode (☞P24)	ステレオXQ ↔ ステレオHQ ↔ HQ ↔ SP ↔ LP
マイク感度 / Mic Sense (☞P25)	会議 ↔ 口述
VCVA (☞P22)	ON ↔ OFF
少し前再生 / Back Space (☞P33)	OFF ↔ 1秒前 ↔ 2秒前 ↔ 3秒前 ↔ 4秒前 ↔ 5秒前 ※ 設定により「1秒前」から「5秒前」に逆スキップ
再生モード / Play Mode (☞P36)	ファイル ↔ ファイルリピート ↔ フォルダ 全ファイルリピート ↔ 全ファイル ↔ フォルダリピート
ノイズキャンセル / Noise Cancel (☞P42)	HIGH ↔ LOW ↔ OFF
音声フィルタ / Voice Filter (☞P43)	ON ↔ OFF
再生スピード / Play Speed (☞P34)	遅聞き再生：0.875倍速 ↔ 0.75倍速 ↔ 0.625倍速 ↔ 0.5倍速 早聞き再生：1.5倍速 ↔ 1.375倍速 ↔ 1.25倍速 ↔ 1.125倍速
その他 / Sub Menu (☞P77)	

その他(Sub Menu)

＋または－ボタンを押す

OK または ⏭ ボタンを押す

OK または ⏮ ボタンを押す

⏮ ボタンを押す

OK ボタンを押す

OK ボタンを 1 秒以上押す

初期設定

ご注意

- 左記は、本機が停止状態から入った場合のメニュー一覧です。音楽ファイルの再生中は、OK ボタンを 1 秒以上押すことでメニュー画面を表示して、「少し前再生」「再生モード」「ノイズキャンセル」「音声フィルタ」「再生スピード」の各項目が設定できます。ただし、設定中に再生ボタンを押したり、8秒間何も操作しないと再生画面に戻ります。
- 設定中に停止ボタン、録音ボタン、再生ボタンのいずれかを押すと、それまでに設定した項目を確定して停止状態になります。
- 設定中に3分間何も操作しない場合は、停止状態に戻ります。このとき選択途中の項目は設定されません。

ファイルをパソコンに保存する

本機はパソコンと接続することで次のようなことができます。

- 本機のファイルをパソコンに保存（バックアップ）したり、パソコンから本機にファイルを転送する
- パソコンで音声ファイルを再生する
  本機で録音した音声ファイルは、Windows Media Playerか、オリンパスのホームページから無償でダウンロードが可能な簡易再生用ソフトウェアDSS Player-Liteを使って、パソコン上で再生できます。DSS Player-Liteを使うと､音声ファイルにつけたインデックスマークの検索も可能です。また、Windows Media Playerを使ってパソコンに取り込んだWMAやMP3形式の語学コンテンツや音楽ファイルを転送し、本機でお楽しみいただけます。
  オリンパスホームページ、http://www.olympus.co.jp

本機をパソコンに接続して扱うときの注意事項

●本機からファイルをダウンロードしたり本機にファイルをアップロードするときは、パソコンから通信中の画面が消えても、本機の録音/再生表示ランプとUSBアクセス表示ランプが赤く点滅中はデータを転送中ですので、USB接続を外さないでください。また、USB接続を外す場合は、必ず☞ P51に記載の方法で行ってください。ドライブを停止してから外さないと、正常にデータが転送されないことがあります。

●パソコンでは本機ドライブを初期化（フォーマット）しないでください。パソコンで初期化した場合は正しく初期化されません。初期化は、本機の「その他」画面から行ってください（☞ P84）。

●「エクスプローラ」などのファイル管理ツールを使用して、本機内の音声フォルダ（DSS_fldA～Eの5フォルダ）とMusicフォルダおよび、各フォルダ内の管理用ファイルに対して、消去、移動、名前の変更などの操作は絶対に行わないでください。ファイルの順番が変わったり、ファイルを認識できなくなることがあります。

●パソコン上の操作で本機ドライブの属性をリードオンリー（読み取り専用）に設定しても、本機ではデータの読み書きができますのでご注意ください。

●ノイズにより周辺電子機器に影響を及ぼすことがありますので、パソコンに接続するときは、外部マイクやイヤホンを外してください。

パソコンの動作環境

対応パソコン

DOS/V 機（IBM PC/AT 互換機）

OS（オペレーティングシステム）

Microsoft Windows Me/2000 Professional（以降 Windows 2000 と表記）/XP Professional,Home Edition（以降 XP と表記）

USB ポート

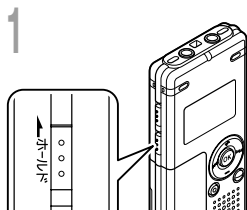
１つ以上の空き

その他

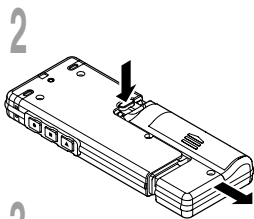
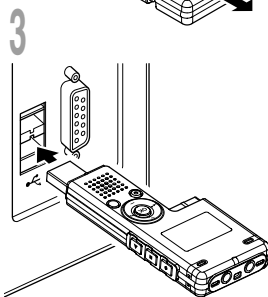
音楽情報取得サイトへアクセスする場合はインターネットが利用できる環境

ご注意

- パソコンがUSBポートを備えていても、Windows 95 または 98 から Windows Me/2000/XP にアップデートした場合はサポート対象外となります。
- 動作環境を満たしていても、自作パソコンでの不具合は動作保証外とさせていただいております。

パソコンに接続する

パソコンに接続する

1 停止状態でホールドスイッチを「ホールド」側にし、本機の電源を切る

ディスプレイが消灯します。

2 背面のリリースボタンを押しながら電池部を切り離す

3 本機のUSB端子をパソコンのUSBポートまたはUSBハブに接続する

USB接続中は、本機のディスプレイに「PCと接続中です」と表示されます。

ＰＣと接続中です

「マイコンピュータ」を開くと「リムーバブルディスク」ドライブとして認識されます。

4 ファイルをパソコンに取り込む

音声録音用の5つのフォルダは、パソコン上でそれぞれDSS_FLD**A**、DSS_FLD**B**、DSS_FLD**C**、DSS_FLD**D**、DSS_FLD**E**という名前で表示され、その中に録音した音声ファイルがWMA形式で保存されています。

データ
送信中・・・

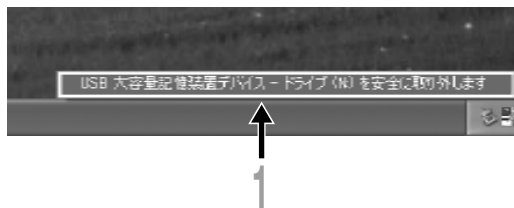
パソコン内のお好きなフォルダにコピーしてください。
データ通信中は「データ送信中」と表示され、録音/再生ランプとUSBアクセス表示ランプが赤く点滅します。
ファイルをダブルクリックすると、Windows Media Playerが起動し、再生を開始します。

ご注意

- Windows 2000 をお使いの場合は、あらかじめ Windows Media Player をインストールする必要があります。
- 本体部と電池部を切り離した状態が長時間続いたり、短い間隔で繰り返して切り離す操作を行うと、時刻の設定が必要になることがあります（☞ P14）。

パソコンから外す

1 画面右下のタスクバーのをクリックし、[USB大容量記憶装置デバイスードライブを安全に取り外します]をクリックする

Windows Meでは[USBディスクードライブの停止]と表示します。お使いのパソコンにより、ドライブのアルファベット表記が異なります。

2 ハードウェアの取り外しウィンドウが表示されたら[OK]をクリックする

3 ディスプレイの消灯を確認してからUSB接続を外す

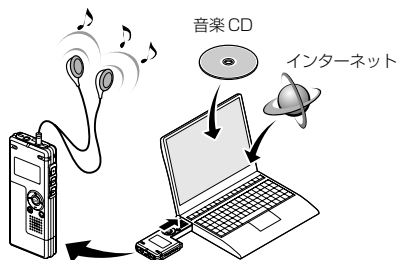
ご注意

- 録音 / 再生表示ランプと USB アクセス表示ランプが赤く点滅中は、絶対に USB 接続を外さないでください。データが破損する可能性があります。
- パソコンの USB ポートまたは USB ハブについては、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- USB コネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていないと正常に動作しません。
- 必要に応じ、同梱品の USB 延長ケーブルをご使用ください。

音楽プレーヤーとして楽しむ

音楽ＣＤやインターネットからパソコンに取り込んだ音楽ファイルを本機に転送して再生することができます。本機はWＭＡ形式、MP3形式の音楽ファイルに対応しています。音楽プレーヤーで再生するためには対応する音楽ファイルをパソコンから転送（コピー）する必要があります。

Windows Media Player を使う

Windows Media Playerを用いると、音楽ＣＤから音楽ファイルを変換（リッピング）したり（☞ P54）、音楽配信サイトで購入した音楽ファイルを簡単に本機に転送することができます（☞ P55）。

著作権と著作権保護機能(DRM)について

著作権者に無断でインターネットからダウンロードした音声や音楽ファイル、音楽CDなどの複製や配布、インターネットへの掲載、再掲載、商用または販売を目的としたWＭＡ やMP3 ファイルへのデータ変換は、著作権法で固く禁じられています。
WMA ファイルには著作権の保護を目的としたDRM（Digital Right Management）が施されている場合があります。DRM が施されているファイルは音楽CD から変換（リッピング）した音楽ファイルや音楽配信によって入手した音楽ファイルを不法にコピーしたり、配布できないよう制限されています。DRM の施されたWMA ファイルを本機に転送するにはWindows Media Player を用いるなど所定の方法で転送する必要があります。また、音楽配信サービスなどで購入されたDRM 付き音楽ファイルは、ポータブルデバイス（本機）へのコピーに制限がある場合があります。

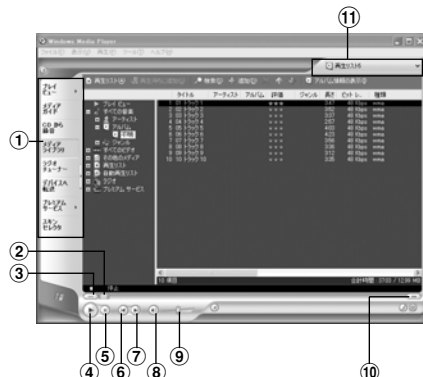
ご注意

• 本機はMicrosoft Corporation のPD-DRM に対応していますが、JANUS には未対応です。

ウィンドウのなまえ

Windows Media Player 10

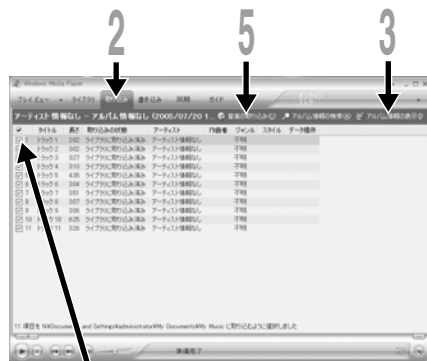
① 機能タスクバー
② クイックアクセスパネルボタン
③ 位置スライダ
④ 巻き戻しボタン
⑤ 再生ボタン
⑥ 停止ボタン
⑦ 前へボタン
⑧ 次へボタン
⑨ ミュートボタン
⑩ 音量スライダ
⑪ ランダム再生 / 連続再生ボタン
⑫ 早送りボタン

Windows Media Player 9

① 機能タスクバー
② 位置スライダ
③ 巻き戻しボタン
④ 再生ボタン
⑤ 停止ボタン
⑥ 前へボタン
⑦ 次へボタン
⑧ ミュートボタン
⑨ 音量スライダ
⑩ 早送りボタン
⑪ クイックアクセスボックス

CDから音楽をコピーする

1 **CDをCD-ROMドライブに挿入しWindows Media Player を起動する**

2 **機能タスクバーから[取り込み]メニューをクリックする**

Windows Media Player 9のときは機能タスクバーから[CDから録音]メニューをクリックします。

3 **[アルバム情報の表示]をクリックする**

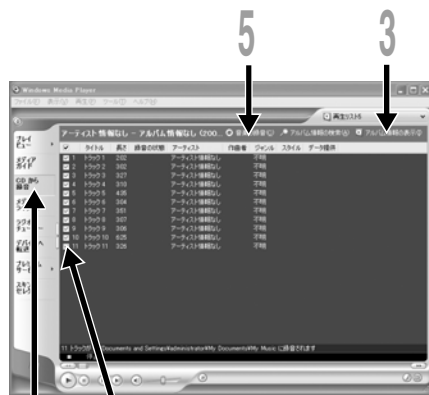
インターネットに接続できる場合はCDの情報検索します。

4 **コピーしたい音楽ファイルにチェックをつける**

5 **[音楽の取り込み]をクリックする**

Windows Media Player 9のときは[音楽の録音]をクリックします。

パソコンにコピーされたファイルはWMA形式で保存されます。コピーされた音楽ファイルはアーティスト、アルバム、ジャンルなどに分類されてプレイリストに追加されます。

Windows Media Player 10

Windows Media Player 9

音楽ファイルを本機に転送する

パソコンに保存した音楽ファイルを本機に転送できます。CDからパソコンに音楽ファイルをコピーする方法は「CDから音楽をコピーする」をご覧ください（☞P54）。

Windows Media Player 10

1 本機をパソコンに接続しWindows Media Player を起動する

2 機能タスクバーから[同期]メニューをクリックする

3 左側のプルダウンメニューから本機に転送するプレイリストを選択し、本機に転送したい音楽ファイルにチェックをつける

表示されるプレイリストの音楽ファイルをドラッグ＆ドロップすると曲順を変更できます。

4 右側のプルダウンメニューから本機に対応するドライブを選択する

通常本機はリムーバブルディスクとして認識されます。

5 右上の をクリックして、同期オプションを設定する

[デバイスにフォルダ階層を作成する]にチェックを入れます。*

アーティスト名やアルバム名のフォルダが自動的に作成されますので、聴きたいファイルなどの検索がしやすくなり、便利です。

* フォルダが自動作成されない場合がありますので、[デバイスにフォルダ階層を作成する]に初期状態でチェックが入っている場合は、いったん、チェックを外してから再度チェックを入れ直してください。

4

音楽ファイルを本機に転送する

6 **[同期の開始]をクリックする**

ファイルが本機に転送されます。本機に転送された音楽ファイルはデバイス上の項目に表示されます。

Windows Media Player 9

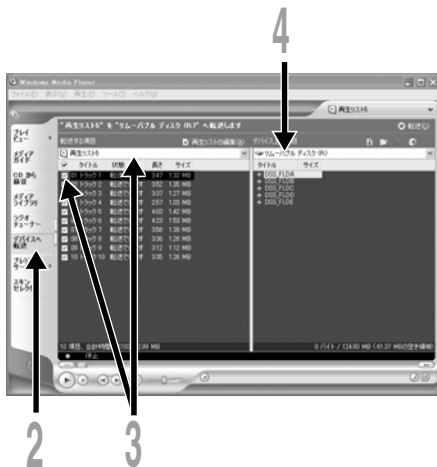
1 **本機をパソコンに接続しWindows Media Player を起動する**

2 **機能タスクバーから[デバイスへ転送]メニューをクリックする**

3 **転送する項目から本機に転送するプレイリストを選択し、本機に転送したい音楽ファイルにチェックをつける**

表示されるプレイリストの音楽ファイルをドラッグ＆ドロップすると曲順を変更できます。

4 **デバイス上の項目から本機に対応するドライブを選択する**

通常本機はリムーバブルディスクとして認識されます。

5 転送先のフォルダを選択する

本機のフォルダ構成については、「フォルダについて」(☞ P16)をご覧ください。

「Root」フォルダに転送する場合

デバイス上の項目の空欄部分(本機ドライブのルート)を選択します。

「Music」フォルダに転送する場合

「Music」フォルダを選択します。あらかじめ「Music」フォルダ内に、「アーティスト名」や「アルバム名」フォルダを作成しておくと、管理しやすくなります(「Music」フォルダには2階層までフォルダを作成することができます)(☞ P16)。

音声フォルダに転送する場合

DSS_FLDA～Eのお好きなフォルダを選んでください。

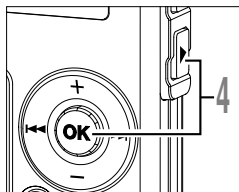
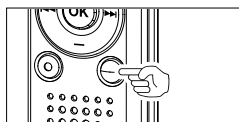
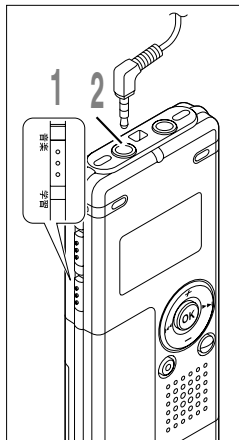
6 [転送]をクリックする

ファイルが本機に転送されます。本機に転送された音楽ファイルはウインドウ上の項目に表示されます。

ご注意

- 音楽配信サービスなどで購入されたDRM付き音楽ファイルは、ポータブルデバイス（本機）へのコピーに制限がある場合があります。
- 詳細は各 Windows Media Player のオンラインヘルプをご覧ください。
- 音楽ファイルをメモリ容量いっぱいまで転送すると、本機のディスプレイに「管理ファイルが作成できません。PCに接続して不要なファイルを消去してください」と表示される場合があります。その場合はファイルを消去して、管理ファイルの空き容量（数百KB～数十MB)を確保してください。(管理ファイルの容量は音楽ファイルの数が増えるほど、多く必要になります。)

音楽を再生する

本機はWMA形式、MP3形式の音楽ファイルに対応しています。音楽プレーヤーで再生するためには対応する音楽ファイルをパソコンから転送（コピー）する必要があります（☞ P55）。

1 モードスイッチを「音楽」側にする（☞ P18）

2 本機のイヤホンジャックにステレオイヤホンを差し込む

3 再生したい音楽ファイルを選ぶ

リスト表示画面で、再生したいファイルにカーソルを合わせます。

ファイル表示画面の場合は、▶▶I または I◀◀ボタンを押してファイルを選びます。

ⓐ 選択中のファイル
ⓑ 選択中のファイルの曲長

リスト表示画面

ファイル表示画面

ファイル表示画面からリスト表示画面に戻る場合や、リスト表示画面で１つ上の階層のリスト表示に戻る場合は、リストボタンを押します。

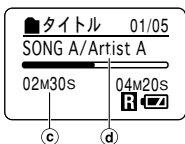
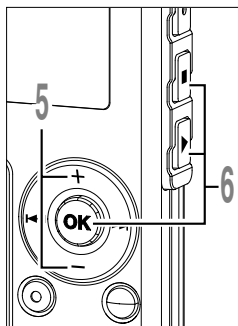
4 再生またはOKボタンを押して再生を開始する

１行で表示できない曲名/アーティスト名は左にスクロールしながら表示します。

ⓒ 現在の再生時間
ⓓ 再生中の曲名 / アーティスト名

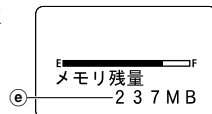
5 ＋または－ボタンを押して聞きやすい音量にする

ディスプレイにボリュームレベルが31段階(0～30)で表示されます。

タイトル 01/05
SONG A/Artist A
ボリューム 14

6 停止、再生またはOKボタンのいずれかを押して再生を停止する

再生していたファイルの途中で停止します。再生またはOKボタンを押すと、停止していたところから再生を開始します。

1曲を再生し終わると次の曲が自動的に再生されます。また本機が停止中に停止ボタンを押し続けると、メモリ残量が表示されます。

ⓔ メモリ残量表示

ご注意

- 本機で再生可能なファイルのビットレートは WMA、MP3 形式ともに 5kbps ～ 256kbps です。
- 可変ビットレート（1 つのファイル内でビットレートを可変させて変換させる）のMP3 ファイル再生も可能ですが、正常に動作しない場合があります。
- イヤホンで聞くときは音量をあまり上げないでください。聴覚障害、聴力低下を引き起こす恐れがあります。
- イヤホンを接続していない場合は本機スピーカから音が出ますがモノラル再生となります。
- 曲名とアーティスト名は各 40 文字まで表示可能です。

早送り・早戻しをするには

早送り

停止中に ▶▶I ボタンを押し続ける。

➥ ボタンから手を離すと停止します。再生またはOKボタンを押すと、その位置から再生します。

SONG A/Artist A
02M30S 04M20S
RANDOM ALL WOW R

- 音楽モードでは、ファイルの途中にインデックスマーク（☞ P40）がついていても停止しません。
- ファイルの終わりまで進むといったん停止し、「一時停止」が表示されます。

再生中に ▶▶I ボタンを押し続ける。

➥ ボタンから手を離すと、その位置から再生します。

SONG A/Artist A
03M30S 04M45S
早送り再生

- ファイルの終わりまで進むといったん停止します。さらに ▶▶I ボタンを押し続けると、「再生モード」（☞ P62）で選んだ再生範囲で早送りを続けます。「ランダム再生」（☞ P64）が「ON」に設定中はランダムにファイルの早送りを続けます。

早戻し

停止中に I◀◀ ボタンを押し続ける。

➥ ボタンから手を離すと停止します。再生またはOKボタンを押すと、その位置から再生します。

SONG A/Artist A
01M10S 04M20S
RANDOM ALL WOW R

- 音楽モードでは、ファイルの途中にインデックスマークがついていても停止しません。
- ファイルの先頭まで戻るといったん停止し、「一時停止」が表示されます。

再生中に I◀◀ ボタンを押し続ける

➥ ボタンから手を離すと、その位置から再生します。

SONG A/Artist A
01M10S 04M45S
早戻し再生

- ファイルの先頭まで戻るといったん停止します。さらに I◀◀ ボタンを押し続けると、「再生モード」で選んだ再生範囲で早戻しを続けます。「ランダム再生」が「ON」の場合は、ランダムにファイルの早戻しを続けます。

再生中に曲の頭出しをする

再生中に ▶▶| ボタンを押す。

➥ 次のファイルの頭出しをして、再生を始めます。

- 「再生モード」で選んだ再生範囲で頭出しを行います。「ランダム再生」が「ON」の場合、ランダムに次のファイルの頭出しを行います。

再生中に |◀◀ ボタンを押す。

➥ 再生中のファイルの頭出しをして、再生を始めます。

再生中に |◀◀ ボタンを 2 回押す。

➥ 1 つ前のファイルの頭出しをして、再生を始めます。

- 「ランダム再生」が「ON」の場合、ランダムにファイルの頭出しを行います。

最終ファイルの終わりまで再生または早送りすると

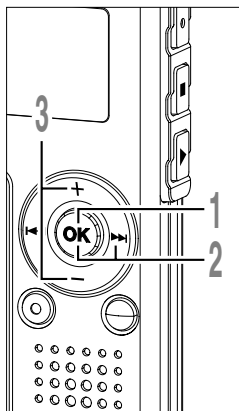
最終ファイルの終わりまで到達すると、先頭のファイルの頭に戻って停止します。「ランダム再生」が「ON」の場合、ランダム再生を始めたファイルの頭に戻って停止します。「再生モード」(☞ P62) で「全曲」を選ぶと、本機内のすべてのファイルを連続で再生することができます。

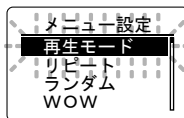
再生に関する設定

この他にも本機の音楽モードでは、音楽ファイルの再生を便利にご利用いただけるよう各種の再生機能を備えています。詳しくは下記のページをご覧ください。

再生モード： フォルダ / 全曲（☞ P62)
リピート再生： OFF/ON/ 1 曲（☞ P63）
ランダム再生： ON/OFF（☞ P64）
WOW： SRS 3D/TruBass（☞ P65）
イコライザー： FLAT/ROCK/POP/JAZZ/USER（☞ P67）

再生モード（Play Mode）を選ぶ

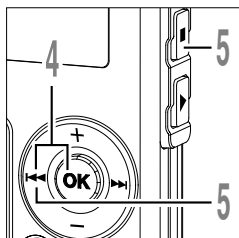
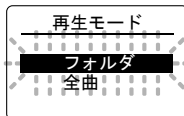
2 種類の再生モードを設定をすることができます。
フォルダ単位で再生するか、本機にある全曲を再生するかお選びいただけます。

1 停止中または再生中にOKボタンを1秒以上押す

ディスプレイに「再生モード」が表示されます（☞ P70、76）。

2 OKまたは▶▶Iボタンを押す

再生モードの設定を始めます。

3 ＋または－ボタンを押して「フォルダ」か「全曲」を選ぶ

フォルダ…フォルダ内のファイルを再生します。

全曲…本機内のすべてのファイルを再生します。

4 OKまたはI◀◀ボタンを押して設定を完了する

全曲を選ぶと、ディスプレイに「ALL」が表示されます。

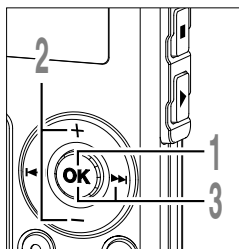
ⓐ 再生モード表示

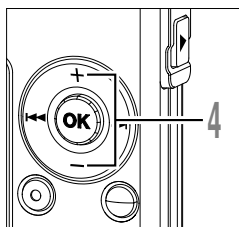
5 停止またはI◀◀ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

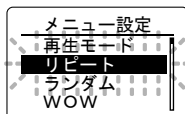
- 「全曲」を選んだ場合は、フォルダ内にあるファイルを再生した後、次のフォルダにあるファイルの再生を始めます。

リピート再生（Repeat）のしかた

「再生モード」（☞ P62)で設定した範囲の音楽ファイルの繰り返し再生が設定できます。

1 停止中または再生中にOKボタンを1秒以上押す

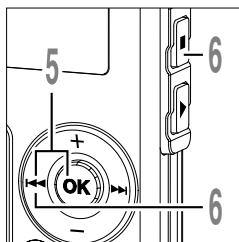
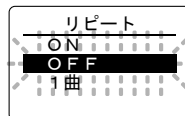
メニュー画面に入ります(☞ P70、76)。

2 ＋または－ボタンを押して「リピート」を選ぶ

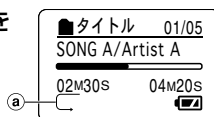
3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

リピートの設定を始めます。

4 ＋または－ボタンを押して「ON」、「OFF」、「1曲」から選ぶ

ON…再生モードで選んだ範囲のファイルを繰り返し再生します。

OFF…設定を解除します。

1曲…選択した1つのファイルを繰り返し再生します。

5 OKまたはI◀◀ボタンを押して設定を完了する

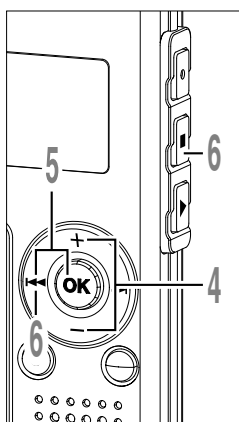
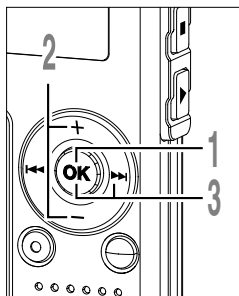
設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

ⓐ リピート再生表示

6 停止またはI◀◀ボタンを押してメニュー画面を終了する

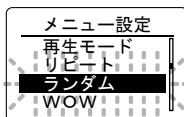
ご注意

- 「リピート」と「ランダム」が両方とも ON の場合は、ランダムに繰り返し再生となります。

ランダム再生（Random）のしかた

「再生モード」（☞ P62)で設定した範囲の音楽ファイルのランダム再生が設定できます。

1 停止中または再生中にOKボタンを1秒以上押す

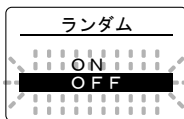
メニュー画面に入ります(☞ P70、76)。

2 ＋または－ボタンを押して「ランダム」を選ぶ

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

ランダムの設定を始めます。

4 ＋または－ボタンを押して「ON」か「OFF」を選ぶ

ON…再生モードで選んだ範囲のファイルをランダムに再生します。

OFF…設定を解除します。

5 OKまたはI◀◀ボタンを押して設定を完了する

「ON」を選択するとディスプレイに「RANDOM」が表示されます。

ⓐ ランダム再生表示

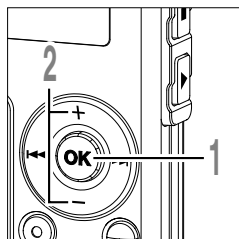
6 停止またはI◀◀ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

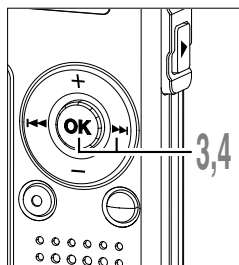
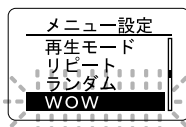
- 「再生モード」で全曲を選んだ場合は、フォルダ内にあるファイルをランダムに全曲再生した後、ランダムにフォルダを選んで、そのフォルダ内をランダムに再生します。
- 「リピート」と「ランダム」が両方ともONの場合は、ランダムに繰り返し再生となります。

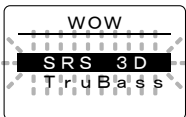
臨場感（WOW）を高める

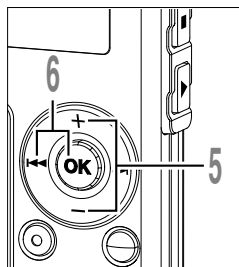
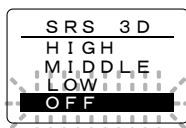
本機は音楽の臨場感を高めるための音響技術であるWOWを搭載しています。音楽のジャンルやお好みに合わせ、サラウンド効果（SRS 3D）とバス効果（TruBass）をそれぞれ４段階にレベル調整できます。

サラウンド効果（SRS 3D）........ 音のひろがり感やクリア感を高めることができます。
バス効果（TruBass）.................. 低音域をより豊かにできます。

1 **停止中または再生中にOKボタンを1秒以上押す**

メニュー画面に入ります(☞ P70、76)。

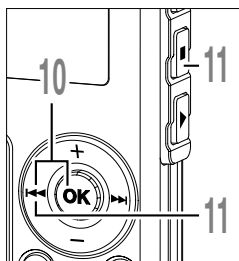
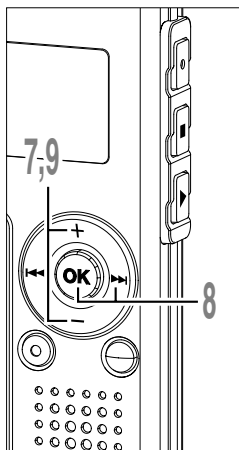
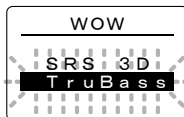
2 **＋または－ボタンを押して「WOW」を選ぶ**

3 **OKまたは▶▶Iボタンを押す**

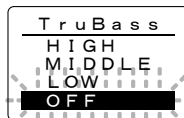
ディスプレイに「SRS 3D」が表示されます。

4 **もう一度OKまたは▶▶Iボタンを押す**

サラウンド効果(SRS 3D)の設定を始めます。

5 **＋または－ボタンを押してお好みのサラウンド効果のレベルを選ぶ**

再生中にメニュー画面に入った場合は、カーソルを動かすとそれに合わせて再生音も変化します。

6 **OKまたはI◀◀ボタンを押してお好みのサラウンド効果を確定する**

「SRS 3D」、「TruBass」選択画面に戻ります。

7 **+または–ボタンを押して「TruBass」を選ぶ**

8 **OKまたは▶▶Iボタンを押す**

バス効果(TruBass)の設定を始めます。

9 **+または–ボタンを押してお好みのバス効果のレベルを選ぶ**

再生中にメニュー画面に入った場合は、カーソルを動かすとそれに合わせて再生音も変化します。

10 **OKまたはI◀◀ボタンを押してお好みのバス効果を確定する**

「SRS 3D」、「TruBass」選択画面に戻ります。

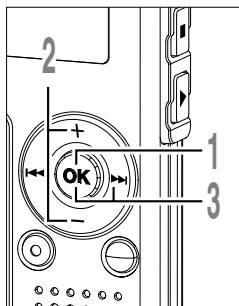
11 **停止またはI◀◀ボタンを押してメニュー画面を終了する**

ⓐ WOW 表示

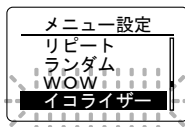
ご注意

- WOW の初期設定はサラウンド効果、バス効果ともに OFF となっています。
- サラウンド効果、バス効果のどちらかでも設定されていると、ディスプレイに「WOW」が表示されます。
- ビットレートが 32kbps 以下の音楽ファイルでは WOW の効果は弱くなります。
- 曲により、WOW の効果が強調され、ノイズのように聞こえる場合があります。そのときは WOW の効果を調整してください。

イコライザー（EQ）を選ぶ

イコライザーの設定をかえると、お好みの音質で音楽を楽しめます。

1 停止中または再生中にOKボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります（☞ P70、76）。

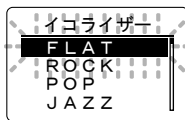
2 ＋または－ボタンを押して「イコライザー」を選ぶ

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

イコライザーの設定を始めます。

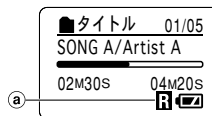
4 ＋または－ボタンを押してお好みのイコライザー特性を選ぶ

FLAT↔ROCK↔ POP ↔ JAZZ↔USER

「USER」を選択した場合、P69の手順5以降を設定してください。

再生中にメニュー画面に入った場合は、カーソルを動かすとそれに合わせて再生音も変化します。

5 OKまたはI◀◀ボタンを押して設定を完了する

6 停止またはI◀◀ボタンを押してメニュー画面を終了する

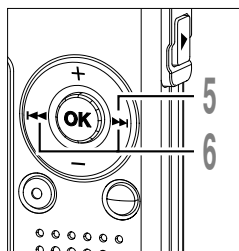
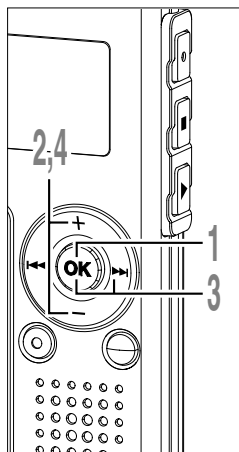
ⓐ イコライザー表示

ご注意

- イコライザーの初期設定は FLAT になっています。

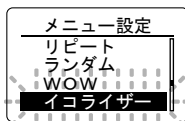
4

イコライザーを選ぶ

ユーザーイコライザーを登録する場合

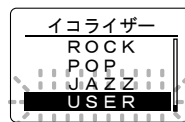
ユーザーイコライザーを設定すると、お好みのイコライザー特性を登録できます。

1 停止中または再生中にOKボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります(☞ P70、76)。

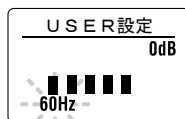
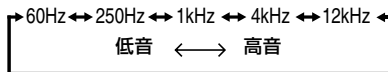
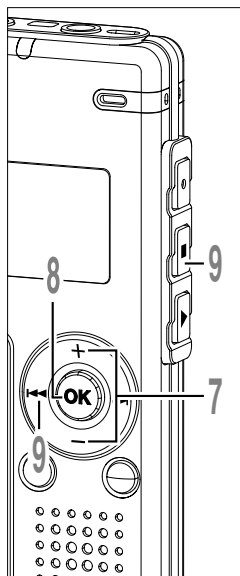
2 ＋または－ボタンを押して「イコライザー」を選ぶ

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

イコライザーの設定を始めます。

4 ＋または－ボタンを押して「USER」を選ぶ

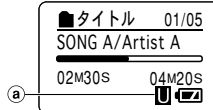
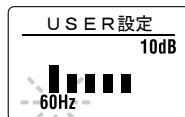
USERの設定を始めます。

5 ▶▶Iボタンを押す

周波数帯の設定を始めます。

6 ▶▶I またはI◀◀ ボタンを押して周波数帯域を選ぶ

7 ＋または－ボタンを押してレベルを選ぶ

レベルの設定を始めます。
－10dBから10dBまで、1dBごとに切り替わり、数字が大きいほど強調されます。
初期設定は0dBになっています。
他の周波数帯域を変更する場合は、引き続き▶▶|または|◀◀ボタンを押し、手順6から設定を始めます。
再生中にメニュー画面に入った場合は、レベルを切り替えるとそれに合わせて再生音も変化します。

8 OKボタンを押して設定を完了する

9 停止または|◀◀ボタンを押してメニュー画面を終了する

ⓐ ユーザーイコライザー表示

ご注意

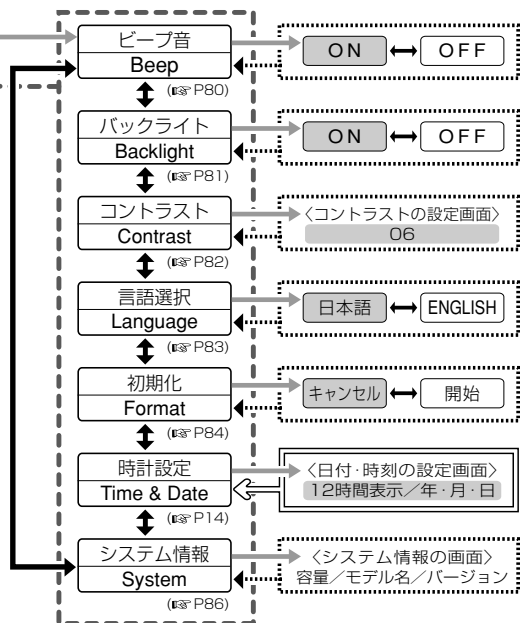
- 登録したユーザーイコライザーの設定は、電池交換を行なっても保存されています。

メニューの一覧（音楽プレーヤー編）

メニュー

4

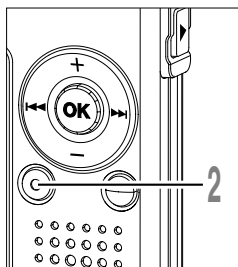
メニューの一覧（音楽プレーヤー編）

その他（Sub Menu）

ご注意

- 上記は、本機が停止状態から入った場合のメニュー一覧です。音楽ファイルの再生中は、OK ボタンを１秒以上押すことでメニュー画面を表示して、「再生モード」「リピート」「ランダム」「WOW」「イコライザー」の各項目が設定できます。ただし、設定中に再生ボタンを押したり、８秒間何も操作しないと再生画面に戻ります。
- 設定中に停止ボタン、録音ボタン、再生ボタンのいずれかを押すと、それまでに設定した項目を確定して停止状態になります。
- 設定中に3分間何も操作しない場合は、停止状態に戻ります。このとき選択途中の項目は設定されません。

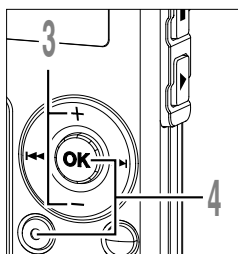
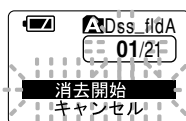
消去する

ファイルを 1 件ずつ消去する

フォルダ内の消去したいファイルを消去できます。

1 消去したいファイルを選ぶ

停止状態で消去したいファイルを表示するか、リスト表示画面で消去したいファイルにカーソルを合わせます。

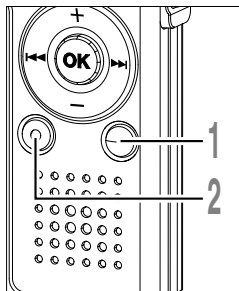
2 消去ボタンを押す

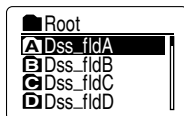
「キャンセル」が点滅します。

3 ＋またはーボタンを押して「消去開始」を選ぶ

4 消去またはOKボタンを押す

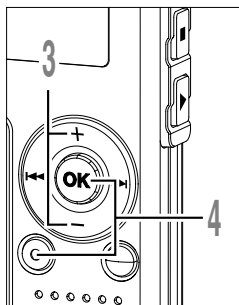
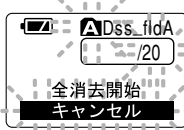
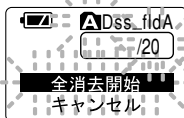
ディスプレイが「ファイル消去中!」にかわり、消去を開始します。

「消去完了」と表示されたら終了です。
消去したファイル以降のファイル番号は自動的に繰り上がります。

フォルダ内のファイルをすべて消去する

選んだフォルダ内のファイルすべてを消去できます。ただし消去ロック設定（☞ P44）のあるファイルや、パソコンで読み取り専用に設定したファイルは消去されません。

1 全消去したいフォルダを選ぶ

カーソルを全消去したいフォルダに合わせてOKまたは▶▶|ボタンを押してフォルダを開きます。

2 消去ボタンを3秒以上押す

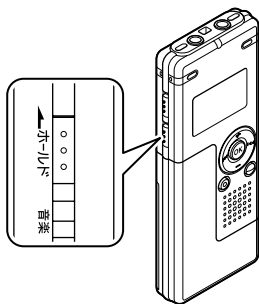
「キャンセル」が点滅します。

3 ＋または－ボタンを押して「全消去開始」を選ぶ

4 消去またはOKボタンを押す

ディスプレイが「全ファイル消去中!」にかわり、消去を開始します。

「消去完了」と表示されたら終了です。
消去ロック設定のファイルや読み取り専用ファイルは、ファイル番号の小さい順にあらためて「1」からファイル番号がつきます。

ご注意

- 一度消去したファイルは元に戻すことができません。
- 消去ロック設定のあるファイルや読み取り専用に設定されているファイルは消去されません（☞ P44）。
- 消去モード画面の表示が点滅してから8秒以内に消去またはOKボタンが押されないと停止状態に戻ります。
- 消去を完了するまで数十秒かかることがあります。その間は絶対に電池を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

誤操作を防止する - ホールド機能

ホールドにすると現在の状態を保ち、ボタンやスイッチ操作を受け付けません。かばんやポケットに入れたとき、誤ってボタンが押されても動作しないので、持ち運ぶときなどに便利です。

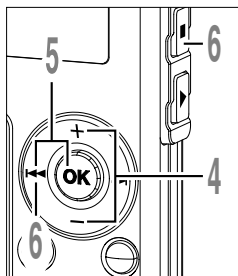
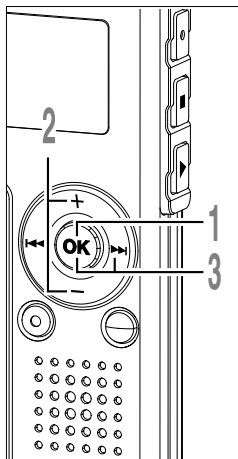
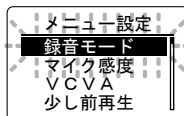
使用するときは必ずホールドスイッチを解除してください。

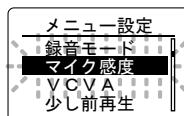
ご注意

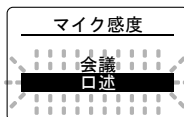
- 停止状態でホールドにするとディスプレイが消灯します。このときいずれかのボタンを押すと、時計表示が約２秒間点滅しますが、動作しません。
- 再生（もしくは録音）中にホールドにすると、再生（録音）状態のまま操作ができなくなります。（再生が終了したり、メモリ残量がなくなって録音が終了すると停止状態になります。）

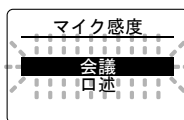
メニューの設定のしかた

メニュー（☞ P46、70）の各項目は次の方法で設定が可能です。

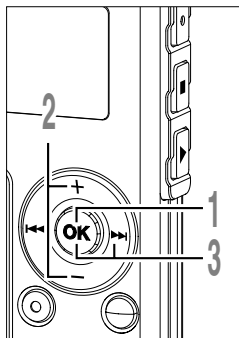
メニューの設定

1 OKボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります（☞ P46、70）。

2 ＋または－ボタンを押して設定したい項目に移動する

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

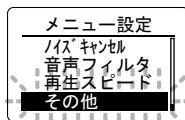
選択した項目の設定に移動します。「その他」が選択されていれば、「その他」の項目に移動します（☞ P46、70、77）。

I◀◀ボタンを押すと一つ前の画面に戻ります。

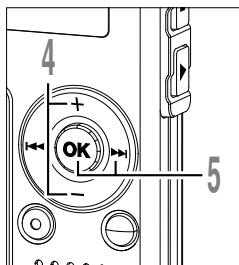
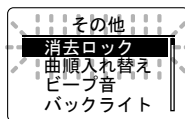
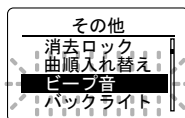
4 ＋または－ボタンを押して設定を変更する

5 OKまたはI◀◀ボタンを押して設定内容を確定する

6 停止またはI◀◀ボタンを押してメニュー画面を終了する

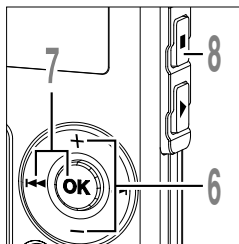
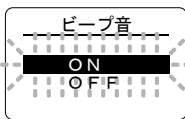
その他（Sub Menu）の設定

1 OKボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります(☞ P46、70、76)。

2 ＋または－ボタンを押して「その他」を選ぶ

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

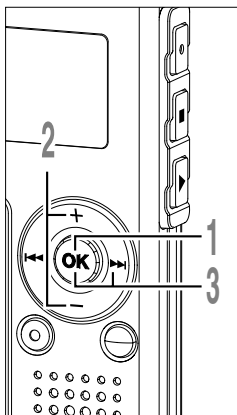
「その他」画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して設定したい項目に移動する

5 OKまたは▶▶Iボタンを押す

選択した項目の設定に移動します。

I◀◀ボタンを押すと一つ前の画面に戻ります。

6 ＋または－ボタンを押して設定を変更する

7 OKまたはI◀◀ボタンを押して設定内容を確定する

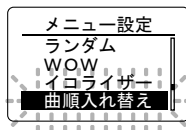
8 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

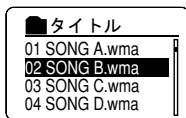
学習 音楽 曲順を入れ替える（Move）

フォルダ内にあるファイルの再生順を変更することができます。あらかじめ再生順を変更したいフォルダ（ファイル）を選択しておきます。

1 停止中または再生中にOKボタンを1秒以上押す

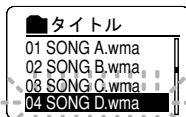
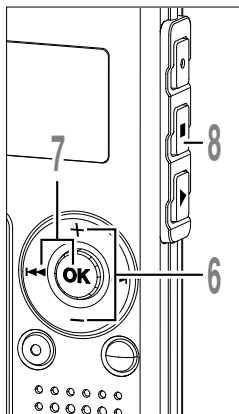
メニュー画面に入ります（☞ P46、70）。

2 ＋または－ボタンを押して「曲順入れ替え」を選ぶ

学習モードでは、「その他」画面（☞ P47）に入って「曲順入れ替え」を選びます。

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

現在のフォルダ内のファイルをリスト表示します。

4 ＋または－ボタンを押してファイルを選ぶ

5 OKまたは▶▶Iボタンを押す

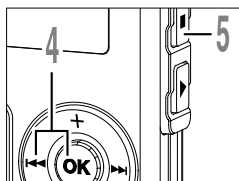
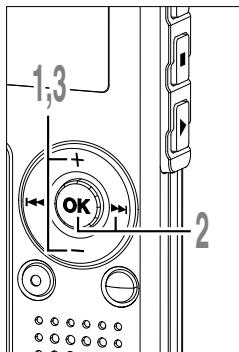
カーソルが点滅表示し移動対象ファイルとして確定します。

6 ＋または－ボタンを押して移動したい場所を選ぶ

7 **OK**または**I◀◀**ボタンを押す

引き続き入れ替えたいファイルがある場合は、再度手順4～7の操作を行ってください。OKボタンを１秒以上押した場合は、入れ替えを完了して「曲順入れ替え」の表示に戻ります。

8 **停止**ボタンを押してメニュー画面を終了する

ビープ音（Beep）について

本機はボタン操作を知らせたり誤操作を警告したりするときにビープ音が鳴ります。
ビープ音を出したくないときは鳴らないように設定することもできます。

1 「その他」画面で＋または−ボタンを押して「ビープ音」を選ぶ

「その他」については（☞ P46、70、77）をご覧ください。

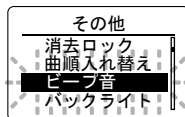
その他
消去ロック
曲順入れ替え
ビープ音
バックライト

2 OKまたは▶▶Iボタンを押す

ビープ音の設定を始めます。

3 ＋または−ボタンを押して「ON」か「OFF」を選ぶ

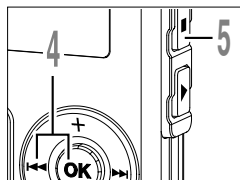
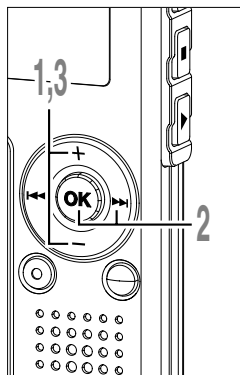
4 OKまたはI◀◀ボタンを押して設定を完了する

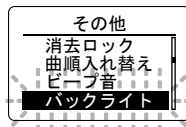
5 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

ビープ音の種類

音	内容
ピッ	再生や録音の開始、表示の切り替え
ピピッ	各種の設定
プップッ	録音の一時停止
ププッ	再生や録音の停止、頭出しの停止、連続頭出しの停止
プッ	頭出し

音	内容
ポッ	前のファイルへの頭出し
ピピピピッ	誤操作の警告
ププーププー	操作の終わり
プー	録音可能な残り時間がわずかなときの警告（☞ P20）

バックライト(Backlight)について

ボタンを押すたびにディスプレイのバックライトが約10秒間点灯するので、暗いところでも表示が確認できて便利です。

1 「その他」画面で+または−ボタンを押して「バックライト」を選ぶ

「その他」については(☞ P46、70、77)をご覧ください。

2 OKまたは▶▶Iボタンを押す

バックライトの設定を始めます。

3 +または−ボタンを押して「ON」か「OFF」を選ぶ

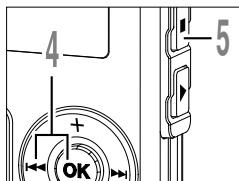
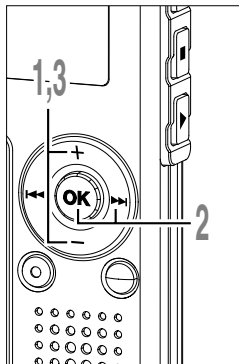
ON…バックライトを設定します。

OFF…バックライトを解除します。

4 OKまたはI◀◀ボタンを押して設定を完了する

5 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

ディスプレイのコントラスト（Contrast）を調整する

ディスプレイのコントラストを 12 段階に調整できます。

1 「その他」画面で＋または−ボタンを押して「コントラスト」を選ぶ

「その他」については（☞ P46、70、77）をご覧ください。

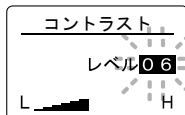
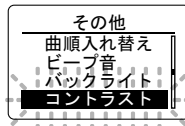
2 OKまたは▶▶Iボタンを押す

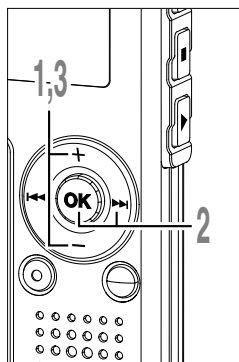
コントラストの設定を始めます。

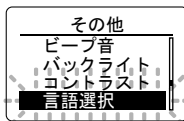
3 ＋または−ボタンを押してレベルの調整をする

「1」から「12」の間で調整を行います。

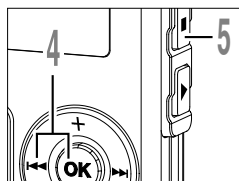
4 OKまたはI◀◀ボタンを押して設定を完了する

5 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

言語選択（Language）のしかた

本機は日本語表示と英語表示のどちらかを選ぶことができます。

1 「その他」画面で＋または－ボタンを押して「言語選択」を選ぶ

「その他」については（☞ P46、70、77）をご覧ください。

2 OKまたは▶▶Iボタンを押す

言語選択の設定を始めます。

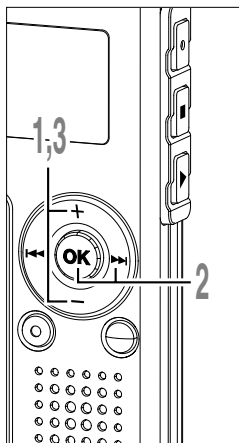
3 ＋または－ボタンを押して「日本語」か「ENGLISH」を選ぶ

4 OKまたはI◀◀ボタンを押して設定を完了する

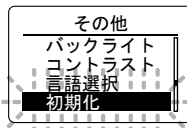
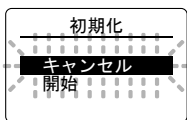
5 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

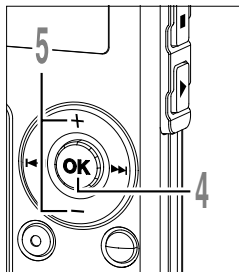
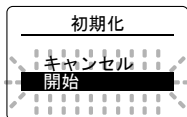
- 表示言語を切り替えても、すでに入力してあるフォルダ名やファイル名の言語がかわることはありません。

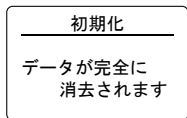
初期化（Format）する

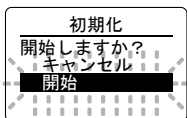
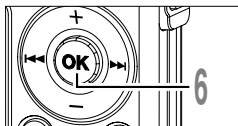
初期化すると記録されているファイルはすべて消去され、年月日時分の設定を残し、各機能の設定が購入時の状態に戻ります。大切なファイルはパソコンに転送してから初期化してください。

1 「その他」画面で＋または－ボタンを押して「初期化」を選ぶ

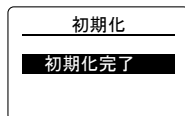
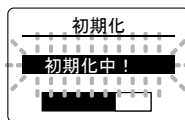
「その他」については（☞ P46、70、77）をご覧ください。

2 OKまたは▶▶Iボタンを押す

キャンセルが点滅します。

3 ＋または－ボタンを押して「開始」を選ぶ

開始が点滅します。

4 OKボタンを押す

「データが完全に消去されます」を2秒間点灯後、「キャンセル」が点滅します。

5 ＋または－ボタンを押してもう一度「開始」を選ぶ

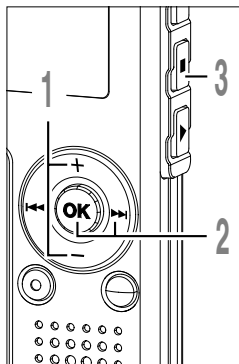
開始が点滅します。

6 OKボタンを押す

表示が点滅して初期化を開始します。

「初期化完了」が表示されたら初期化完了です。

ご注意

- 初期化中は絶対に電池を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。消去を完了するまで数十秒かかることがあります。
- 本機をパソコンから初期化することは絶対にしないでください。
- 初期化後、録音した音声ファイルは、ファイル名が 0001 からとなる場合があります。
- 一度初期化をすると、DRM 付き音楽ファイルを再び本機へ転送することができなくなる場合があります。
- 初期化をすると消去ロックをかけたファイルや読み取り専用ファイルを含む既存のデータはすべて消去されます。

システム情報（System）を見る

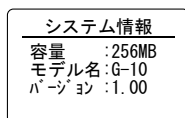
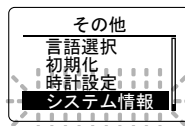
メニュー画面から本機の情報を確認することができます。

1 「その他」画面で＋または－ボタンを押して「システム情報」を選ぶ

「その他」については（☞ P46、70、77）をご覧ください。

2 OKまたは▶▶Iボタンを押す

本機の情報が表示されます。

システム情報
容量　　:256MB
モデル名:G-10
ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ :1.00

3 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

パソコンの外部メモリとして使う

音声レコーダー、音楽プレーヤーとしての使いかたの他に、本機はパソコンの外部メモリとして、パソコンからのデータ保存や読み出しにもご使用できます。
本機とパソコンを接続すれば、本機のデータをパソコンへ転送したり、パソコンに保存されたデータを本機に保存することが可能です。

たとえば、エクスプローラなどでパソコンのデータをコピーする

1 パソコンを起動する

2 本機をパソコンに接続する

接続方法は、「パソコンに接続する」をご覧ください（☞ P50）。

3 エクスプローラを起動する

本機がリムーバブルディスクとして表示されます。

4 データをコピーする

データの読み書きやコピーなど、アクセス中は本機の録音/再生表示ランプとUSBアクセス表示ランプが赤く点滅します。

ご注意

- 録音 / 再生表示ランプと USB アクセス表示ランプが赤く点滅中は、絶対に USB 接続を外さないでください。データが破損する可能性があります。

警告表示一覧

表示	詳細	解決方法
電池を交換して下さい **(Battery Low)**	電池残量がない。	新しい電池に交換してください(☞ P12)。
消去できません **(File Protected)**	消去ロックがかかっているファイルを消去しようとした。	消去ロックを解除してください(☞ P44)。
これ以上記録できません (インデックスマークをつけるとき) **(Index Full)**	ファイル内でインデックスマークを最大数(16)まで使っている。	必要のないインデックスマークを消去してください(☞ P40)。
インデックス未対応です **(Index Can't Be Entered)**	音楽ファイルや本機以外で録音したWMAファイルにインデックスマークをつけようとした。	本機またはオリンパス製ICレコーダーで録音した音声ファイルに限りインデックスマークがつけられます。
音楽再生モードです **(Music Mode)**	音楽モードで録音しようとした。	モードスイッチを「学習」に切り替えて録音してください(☞ P18)。
A～Eフォルダで録音してください **(Illegal Folder)**	「Music」フォルダで録音しようとした。	A～Eフォルダを選択し直して録音してください(☞ P16)。
これ以上記録できません (録音するとき) **(Folder Full)**	フォルダ内のファイル件数が最大数(200)になっている。	必要のないファイルを消去してください(☞ P72)。
メモリーに異常があります **(Memory Error)**	内蔵フラッシュメモリに異常がある。	当社カスタマーサポートセンターにご連絡ください(☞ P95)。
不正コピーされたファイルです **(Licence Mismatch)**	不正にコピーされた音楽ファイルです。	ファイルを消去してください(☞ P72)。
メモリーがいっぱいです **(Memory Full)**	フラッシュメモリ残量がない。	必要のないファイルを消去してください(☞ P72)。
ファイルがありません **(No File)**	フォルダ内にファイルがない。	フォルダを選び直してください。
初期化に失敗しました **(Format Error)**	初期化に問題があった。	メモリを再フォーマットしてください(☞ P84)。
このファイルは読み取り専用です **(Read Only File)**	パソコンで読み取り専用に設定したファイルを消去しようとした。	パソコンで読み取り専用の設定を解除してください。

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
ディスプレイに何も表示されない	電池が正しく入っていない。	電池の⊕⊖を確かめてください。
	電池が消耗している。	新しい電池に交換してください（☞ P12）。
	ホールドがかかっている。	ホールドを解除してください（☞ P13、75）。
操作できない	ホールドがかかっている。	ホールドを解除してください（☞ P13、75）。
	電池が消耗している。	新しい電池に交換してください（☞ P12）。
録音できない	メモリ残量がない。	必要のないファイルを消去してください（☞ P72）。
	ファイル番号が最大記録件数になっている。	別のフォルダを確認してみてください。
	音楽プレーヤーモードになっている。	モードスイッチを「学習」に切り替えてください（☞ P18）。
再生音が聞こえない	イヤホンが接続されている。	内蔵スピーカでの再生時はイヤホンをはずしてください。
	音量が０になっている。	ボリュームを調節してください（☞ P30）。
消去できない	消去ロックがかかっている。	消去ロックを解除してください（☞ P44）。
	読み取り専用ファイルである。	パソコンで読み取り専用の設定を解除してください。
再生時に雑音がする	録音時に本機をこすったりした。	―
	録音時、再生時に本機を携帯電話や蛍光灯の近くに置いている。	操作時に本機の位置を変えてみてください。
録音のレベルが小さい	マイク感度が低い。	マイク感度を「会議」にしてもう一度録音してみてください（☞ P25）。

症状	考えられる原因	対処方法
インデックスマーク・テンプマークがつけられない	マーク件数が最大（16件）になっている。	必要のないマークは消去してください（☞ P40）。
	音楽プレーヤーモードになっている。	モードスイッチを「学習」に切り替えてください（☞ P18）。
	消去ロックがかかっている。	消去ロックを解除してください（☞ P44）。
	読み取り専用ファイルである。	パソコンで読み取り専用の設定を解除してください。
録音した音声ファイルがない	録音したフォルダではない。	フォルダを切り替えてください。
電池寿命が短い	電池ボックス接続端子（☞P10の㉕）や、電池室内の電池接点部に汚れが付着している。	電極部を傷付けないように注意して、乾いた柔らかい布などで清掃してください。

アクセサリー（別売）

ステレオマイクロホン：ME51SW
ステレオマイクロホンME51Sと延長コード、クリップのセットです。大口径マイク内蔵で、より高感度のステレオ録音が可能です。

単一指向性マイクロホン：ME12（口述録音用マイク）
周囲の雑音の影響を軽減して、ご自身の声を録音したい場合に使用します。

単４形ニッケル水素充電池／充電器セット：BC400
ニッケル水素充電器BU-400と単４形ニッケル水素充電池BR401 ４本組セットです。オリンパス製の単3、単4形ニッケル水素充電池を急速充電できます。

モノラルタイピンマイク（無指向性）：ME15
タイピン付きの目立たない小型マイクです。

テレホンピックアップ：TP7
イヤホン型マイクを耳に入れてそのまま通話。電話の声や会話を明瞭に録音できます。

単４形ニッケル水素充電池：BR401
持続性に優れた高性能充電池です。

用語の説明

用語	意味
ボイストレック	オリンパス製 IC レコーダーの総称です。
メモリ	内蔵のフラッシュメモリのことを指します。
音声ファイル	本機で録音した用件のことを音声ファイルと呼びます。
音楽ファイル	WMA（Windows Media Audio）、MP3（MPEG1､2 Audio Layer 3）形式のファイルのことを音楽ファイルと呼びます。
停止状態	本機が録音、再生などの動作をしていない状態を指します。
ビットレート	1 秒間あたりに処理されるデータ量のことです。圧縮率を示すこの数値が高いほど音質は良くなりますが、ファイルの容量が大きくなります。
フォルダ	ファイルを分類して録音するための機能（入れ物）です。
キュー（Cue）	早送り再生のことです。
レビュー（Review）	早戻し再生のことです。
VCVA	設定より大きな音を感知すると自動的に録音を開始し、音が小さくなると停止する音声起動録音の略称です。
録音モード	録音の用途に合わせて選択可能な録音方式のことです。
消去ロック	誤消去を防止するための機能で、各ファイルごとに設定可能です。
インデックスマーク	音声ファイル中のどこにでもつけられる頭出し信号のことです。
テンプマーク	本機以外で作成されたファイル中に一時的に付けられる頭出し信号のことです。
BEEP（ビープ）音	ボタンを操作したときの確認音や警告音のことです。
フォーマット	初期化とも言います。
USB 接続	本機とパソコンを接続するための方法です。 接続にはパソコン側に USB 端子が必要です。

主な仕様

デジタル音声レコーダー部

記録形式　WMA（Windows Media Audio）形式

規定入力レベル　－ 70dBv

サンプリング周波数
ステレオ XQ モード: 44.1kHz
ステレオ HQ モード: 44.1kHz
HQ モード : 44.1kHz
SP モード : 22kHz
LP モード : 8kHz

総合周波数特性　ステレオXQモード : 100Hz～17kHz
ステレオHQモード : 100Hz～15kHz
HQ モード : 100Hz ～ 12kHz
SP モード : 100Hz ～ 5kHz
LP モード : 100Hz ～ 3kHz

記録時間　ステレオXQモード : 約4時間20分
ステレオHQモード : 約8時間45分
HQ モード : 約 17 時間 35 分
SP モード : 約 34 時間 40 分
LP モード : 約 68 時間 55 分

アルカリ電池持続時間
録音 :（ステレオ）約 11 時間
（モノラル）約 15 時間
再生 :（ステレオ）約 7 時間
（モノラル）約 7 時間

ニッケル水素充電池持続時間
録音 :（ステレオ）約 9 時間
（モノラル）約 12 時間
再生 :（ステレオ）約 6 時間
（モノラル）約 6 時間

デジタル音楽プレーヤー部

対応データ形式　WMA、MP3 形式

サンプリング周波数　44.1kHz

周波数特性　20Hz ～ 20kHz

記録時間　約 3 時間 20 分～ 11 時間 20 分

ヘッドホン最大出力
5mW ＋ 5mW（22Ω 負荷時）

アルカリ電池持続時間
WMA : 約 14 時間
MP3 : 約 16 時間

ニッケル水素充電池持続時間
WMA : 約 11 時間
MP3 : 約 12 時間

共通仕様部

記録媒体　内蔵型 NAND FLASH メモリー 256MB

スピーカ　φ 18mm 丸型ダイナミック スピーカ内蔵

マイクジャック　φ 3.5mm インピーダンス 2kΩ

イヤホンジャック　φ 3.5mm インピーダンス 8Ω 以上

スピーカ実用最大出力（DC1.5V）
70mW 以上（スピーカ 8Ω）、

電源	定格電圧：1.5V 電池：　単４形電池１本 （LR03、R03 または ZR03） ニッケル水素充電池１本
外形寸法	94.8 × 38.2 × 11mm （最大突起部含まず）
質量	46g（アルカリ電池含む）
同梱品	本体 ステレオイヤホン (E33) 単４形アルカリ乾電池 × 1 USB 延長ケーブル 取扱説明書（保証書付） ダビング用コネクティングコード

＊ 本機の仕様および外観は性能改良などのため、予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。

＊ 電池持続時間は当社試験法によるものです。使用電池・使用条件により大きく変ります。

アフターサービスについて

お買い上げいただきました本機を安心してご愛用いただくために当社では、次のアフターサービス体制をとっております。ユーザー登録を行っていただくと、各種サービス情報をお届けできます。
http://olympus-imaging.jp/ からお願いします。

● **オリンパスホームページ**
http://www.olympus.co.jpでICレコーダ（ボイストレック）および関連製品の技術情報を提供しております。

● **製品に関するお問い合わせは**
オリンパスカスタマーサポートセンター
Tel ：0120 － 084215
携帯電話・PHS：042 － 642 － 7499
Fax：042 － 642 － 7486

※ カスタマーサポートセンター・修理センターおよびサービスステーションの営業日・営業時間、最新情報についてはオリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp/ から「お客様サポート」のページをご参照ください。

● **修理に関するお問い合わせは**
お買い上げ店か、お近くのオリンパスサービスステーションにお問い合わせください。当社では本機の補修用修理部品は、製造打ち切り後6年間をめやすに保有しております。したがいまして上記期間中は、原則として修理をお受けいたします。また期間後であっても修理可能の場合もあります。なお保証期間経過後の修理は有料となります。また、保証期間中でも運賃など諸費用は、お客様にご負担をお願いいたします。製品を送る場合は、必ず書留小包または宅配便をご利用ください。

＜保証規定＞

1. この保証書は、取扱説明書、品質表示ラベル等の注意書にしたがった正常なお取扱いにより発生した故障に対して、お買い上げ日から満一年間、当社が無料修理の責任を負うことを保証するものです。
2. 有効期間内に故障して無料修理を受けられる場合は、商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店又は別紙の当社サービスステーションに依頼してください。
3. 販売店、または当社サービスステーションにご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。製品を送る場合は、必ず書留小包または宅配便をご利用ください。また販売店と当社間の運賃諸掛につきましては、輸送方法によって（問屋便以外を使用した場合）一部ご負担いただく場合があります。
4. ご転居、ご贈答品等でお買い上げ販売店に依頼できない場合は、最寄りの当社サービスステーションにお問い合わせください。
5. この保証書は、本書に明示した期間、条件の元において無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書は、オリンパスイメージング株式会社、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
6. 本製品の故障に起因する付随的損害（録音、再生に要した諸費用及び録音、再生により得べかりし利益の損失等）については保証致しかねます。
7. 保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。
   イ．ご使用上の誤り及び当社サービスステーション及び指定する修理取扱い所以外で行われた修理・改造・分解・掃除等による故障。
   ロ．お買い上げ後の輸送、落下等による故障及び損傷。
   ハ．火災・異常電圧・地震・水害・落雷・公害・その他、天災・地変による破損又は故障。
   ニ．本書のご提示がない場合。
   ホ．本書にお買い上げ年月日、シリアルNo.、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
   ヘ．電池等の消耗品による故障。
8. 保証の対象は本体のみです。

＜保証書取扱い上の注意＞

本書は日本国内においてのみ有効です。
(THIS WARRANTY CARD IS VALID ONLY IN JAPAN)
販売店名およびお買い上げ年月日が記載されていることを確認してください。記入もれがあった場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

＜保証責任者・保証履行者＞

オリンパス イメージング株式会社
〒 163-0914 東京都新宿区西新宿 2-3-1 新宿モノリス

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。お買い上げの日から1年以内に故障した場合は本書をご提示の上お買い上げの販売店または当社サービスステーションに修理をご依頼ください。

	無料修理保証期間	部品代	修理工料
本体	1年	無料	
品名	ボイストレック	型名	G-10
シリアルNo.		お買い上げ日	年　月　日
販売店名	無効		

J1-BZ8172-01
AP0605